（様式11）

（E0801）
E0901

令和 7 年 9 月 4 日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会 自由民主党浜松
代表者　会長　平野　岳子　様

要請・陳情活動に係る報告書

出張年月日	令和 7 年 9 月 3 日　（水）　1日間
出張先	名古屋市 中部整備局・中部運輸局
出張の理由	令和８年度予算に係る要望・調査
出張者 氏名印	平野　岳子 [redacted]　齋藤　和志 [redacted]　加茂　俊武 [redacted] 久米　丈二 [redacted]　井田　博康 [redacted]　辻村　公子 [redacted] （計６名）

（出張の顛末）

1　要請・陳情先
　名古屋市
　　中部整備局　・　中部運輸局

2　要請・陳情内容
　別紙の通り

3　要請書・陳情書の有無
　　㊀　・　無　※有の場合は添付する

（備考）

多書類持参、及び地理・時間的理由によりタクシー利用

中部地方整備局要望一覧＜令和8年度予算用＞

◎ 国土交通省 中部地方整備局

	氏名	中整all
局長	森本　輝　様	○
副局長	中原　正顯　様	○
副局長	中川　雅章　様	○
統括防災官	渡邊　伸也　様	○
企画部長	濵田　禎　様	○
企画調整官	奥中　智行　様	○
企画課長	番場　良平　様	○

◎道路部

	氏名	道路	河川
道路部長	望月　拓郎　様	○	
道路調査官	大口　鉄雄　様	○	
地域道路調整官	加藤　正臣　様	○	
特定道路工事対策官	桑原　良輝　様	○	
道路情報管理官	長谷川　裕修　様	○	
道路保全企画官	飯田　明弘　様	○	
路政課長	吉田　靖伸　様	○	
道路計画課長	北川　洋平　様	○	
地域道路課長	浅井　聡　様	○	
計画調整課長	竹村　英利　様	○	
道路工事課長	岩田　明　様	○	
交通対策課長	高橋　寿　様	○	

◎河川部

	氏名	道路	河川
河川部長	高畑　栄治　様		○
河川調査官	加納　啓司　様		○
地域河川調整官	阿部　聡　様		○
上下水道調整官	市川　真大　様		○
総合土砂管理官	岩田　伸隆　様		○
河川計画課長	小泉　陽彦　様		○
地域河川課長	堀　智幸　様		○

○ 中部運輸局（道鉄耐震化）

	氏名	
局長	中村　広樹　様	○
次長	大森　隆弘　様	○
鉄道部長	磯本　耕一　様	○
鉄道部次長	小野木　康仁　様	○
鉄道部　計画課長	松井　茂久　様	○
鉄道部　技術・防災課長	大野　智也　様	○

令和７年９月３日

令和８年度予算に関わる

要　望　書

浜松市議会 自由民主党浜松

要望事項

1．浜松市の国土強靱化について

2．国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について

3．三遠南信自動車道の整備促進と国道152 号現道改良区間の事業推進について

4．浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について

5．災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について

6．防災・減災、国土強靱化の推進について

7．交通事故のない安全・安心な道づくりの推進について

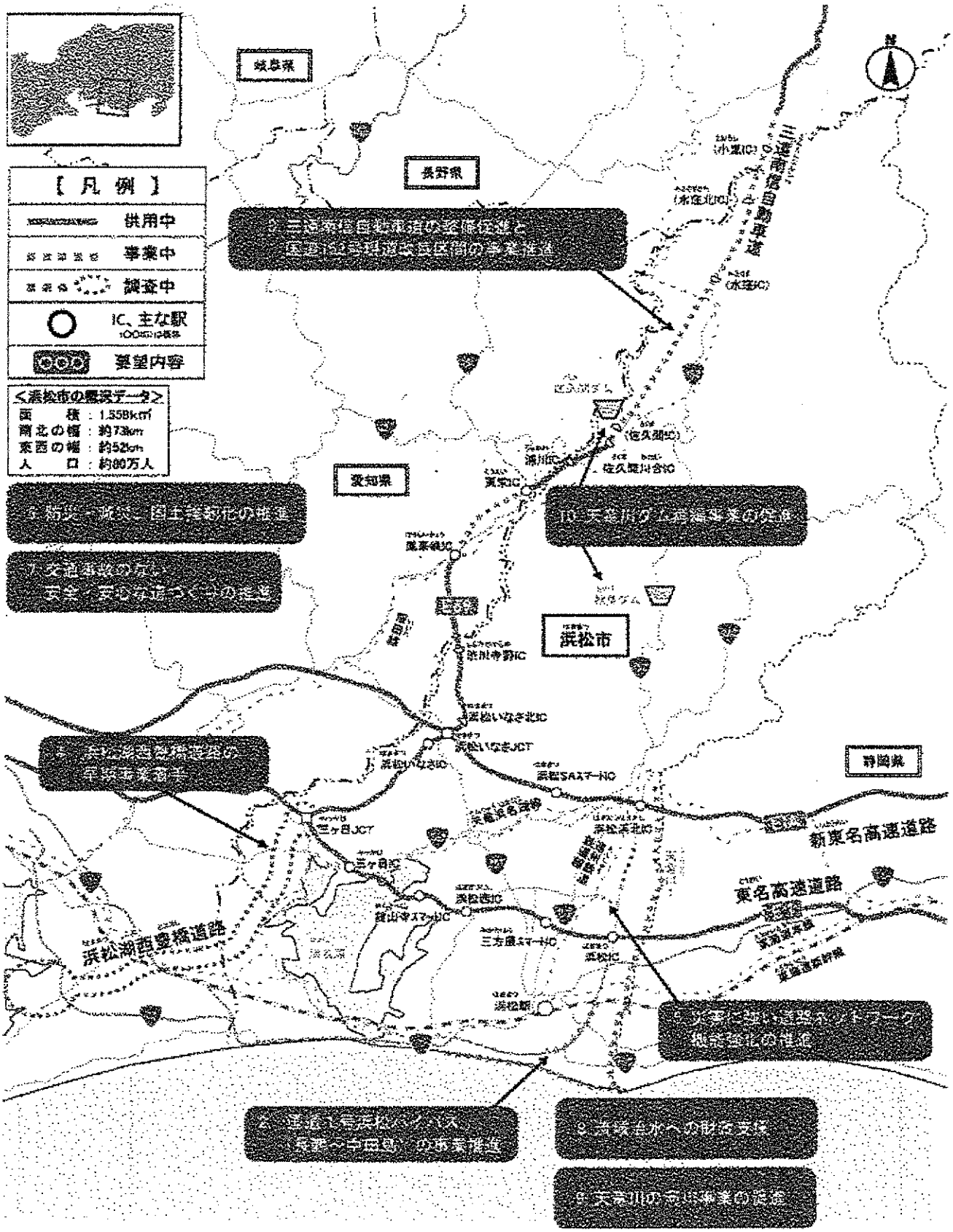
8．流域治水への財政支援について

9．天竜川の河川事業の促進について

10．天竜川ダム再編事業の促進について

11．多様な役割を担う下水道事業の推進について

要望箇所位置図


岐阜県
長野県
愛知県
静岡県
【 凡 例 】
供用中
事業中
調査中
IC、主な駅
要望内容
<浜松市の概況データ>
面　　積：1,558k㎡
南北の幅：約73km
東西の幅：約52km
人　　口：約80万人
浜松市
新東名高速道路
東名高速道路
浜松湖西豊橋道路
三ヶ日JCT
浜松いなさJCT
浜松西IC
浜松SAスマートIC
三方原スマートIC
浜松IC
浜松北IC
浜松西インター
浜松いなさ北IC
浜松いなさIC
三ヶ日IC
都田IC
浜松西スマートIC
都田スマートIC
浜松駅
佐久間IC
佐久間川合IC
東栄IC
豊根IC
浜松湖北豊橋道路
三遠南信自動車道
(水窪IC)
(水窪北IC)
(小嵐IC)

国に対する要望事項

浜松市　NO. 1

国の所管	国土交通省　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	浜松市の国土強靭化について
要　旨	**（要望内容）** 防災・減災は喫緊の課題であり、太平洋沿岸に位置する南部地域においては、南海トラフ巨大地震発生時に最大震度７が想定されていることや、近年の度重なる豪雨による平地部での浸水被害、中山間地域での土砂崩れが多発していることなど、本市における災害リスクは極めて高い状況です。 また、加速度的に老朽化が進行する膨大なインフラ施設を適正に維持管理することが必要であることから、市民の皆様が安全・安心に暮らせるまちの実現に向けた国土強靭化施策の更なる加速化・深化を図ることが急務であるため、国土強靭化実施中期計画の着実な推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。 さらに、資材価格などの上昇に対応する中でも、地域が必要とする事業の実施や維持管理が計画的かつ長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、令和８年度当初予算の所要額を満額確保するよう要望します。

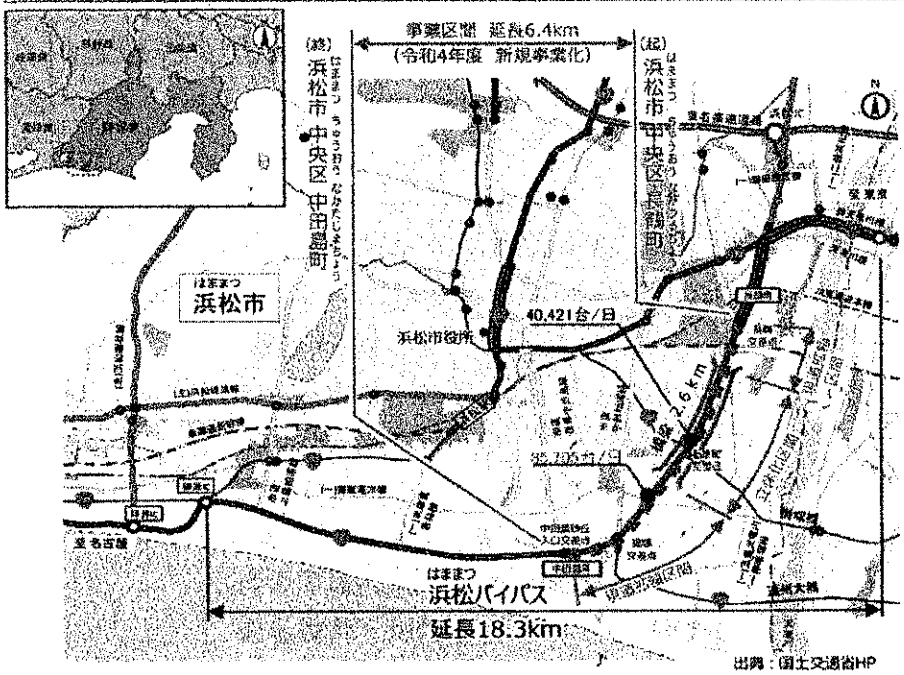
国に対する要望事項

浜松市　NO. 2

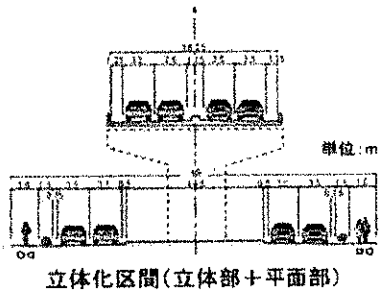
国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について
要　旨	**（要望内容）** 国道１号浜松バイパスは、東西の地域を連絡するとともに本市の環状機能を担う重要な道路です。 国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）では、立体化や現道拡幅が計画されており、物流の速達性向上による産業活性化支援や渋滞緩和による地域交通の円滑化、交通事故の削減など、大きな整備効果が期待されます。 道路や橋梁の設計が着実に進められており、早期工事着手に向けた地元の期待が高まっています。 本市としても、地域交通の円滑化を図るため、交差道路の整備を推進するとともに、本事業が円滑かつ迅速に進められるよう、地域一丸となって対応して参りますので、早期に工事着手を図るよう要望します。

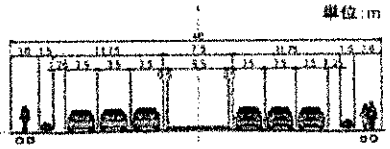
国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進

１．国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進

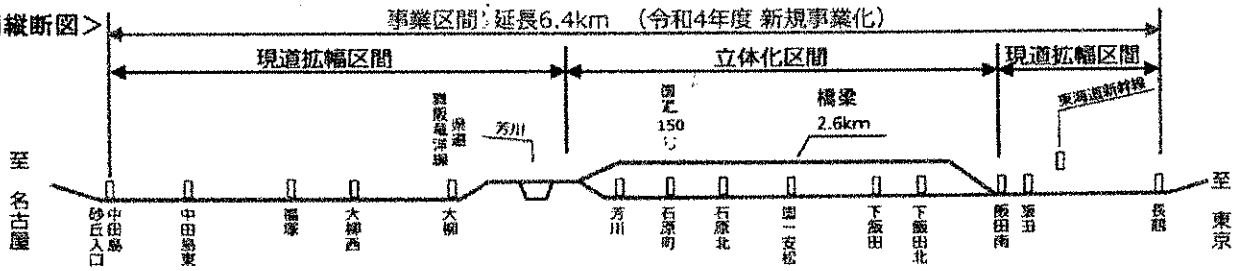


＜標準横断図＞

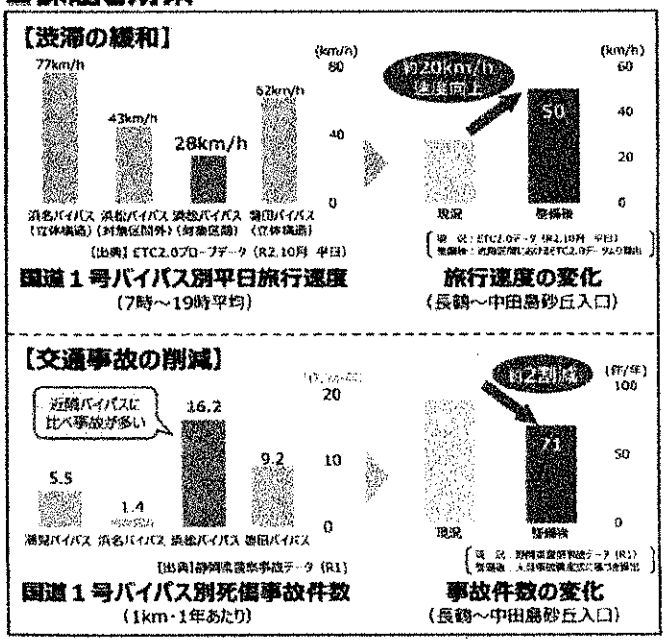




＜計画縦断図＞



■課題と効果



■進捗状況



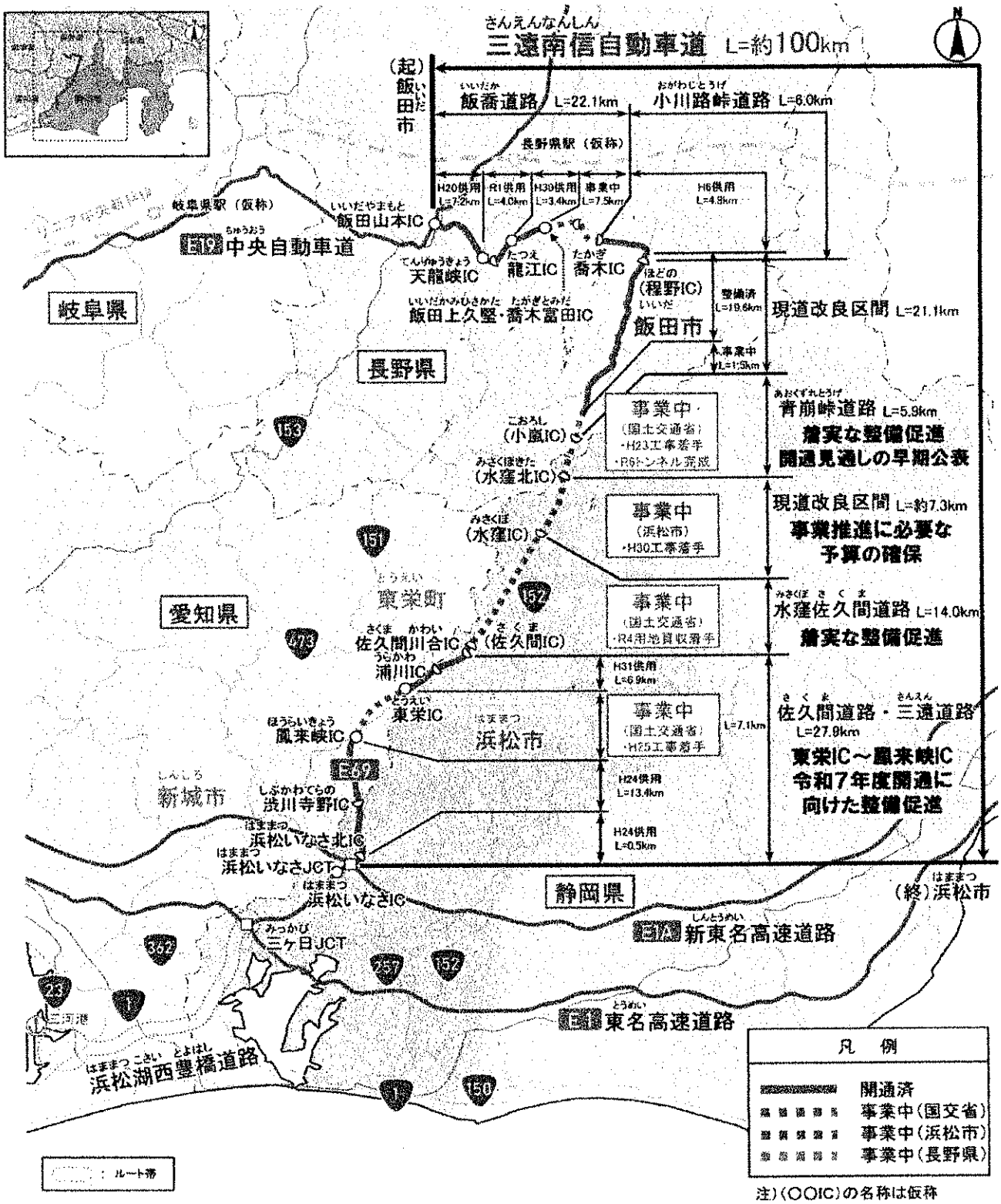
国に対する要望事項

浜松市　NO.３

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	三遠南信自動車道の整備促進と国道152号現道改良区間の事業推進について
要　旨	**（要望内容）** 三遠南信自動車道は、三遠南信地域を結ぶ地域連携の基軸であり、広域交流や物流の活性化、災害時の“命の道”として、信頼性・安定性の高い道路ネットワークを構築する重要な道路です。 現在、佐久間道路・三遠道路の東栄ＩＣ～鳳来峡ＩＣ間では、令和７年度の開通に向け工事が推進され、水窪佐久間道路では、工事着手に向けた調査設計・用地取得が進められています。さらに、静岡・長野県を結び、難所である青崩峠道路では、令和７年３月２日に青崩峠トンネル（仮称）の工事完成式が開催されるなど、全線開通に向けた地元の期待がこれまで以上に高まっています。 引き続き、国土強靭化の取組みを進めるための予算を別枠で確保し、三遠南信自動車道の整備促進を図るとともに、本市における国道152号現道改良区間の事業が計画的かつ着実に進められるよう、必要な予算の確保を要望します。 また、青崩峠道路については、開通見通しを早期に示すよう要望します。

三遠南信自動車道の整備促進と国道１５２号現道改良区間の事業推進

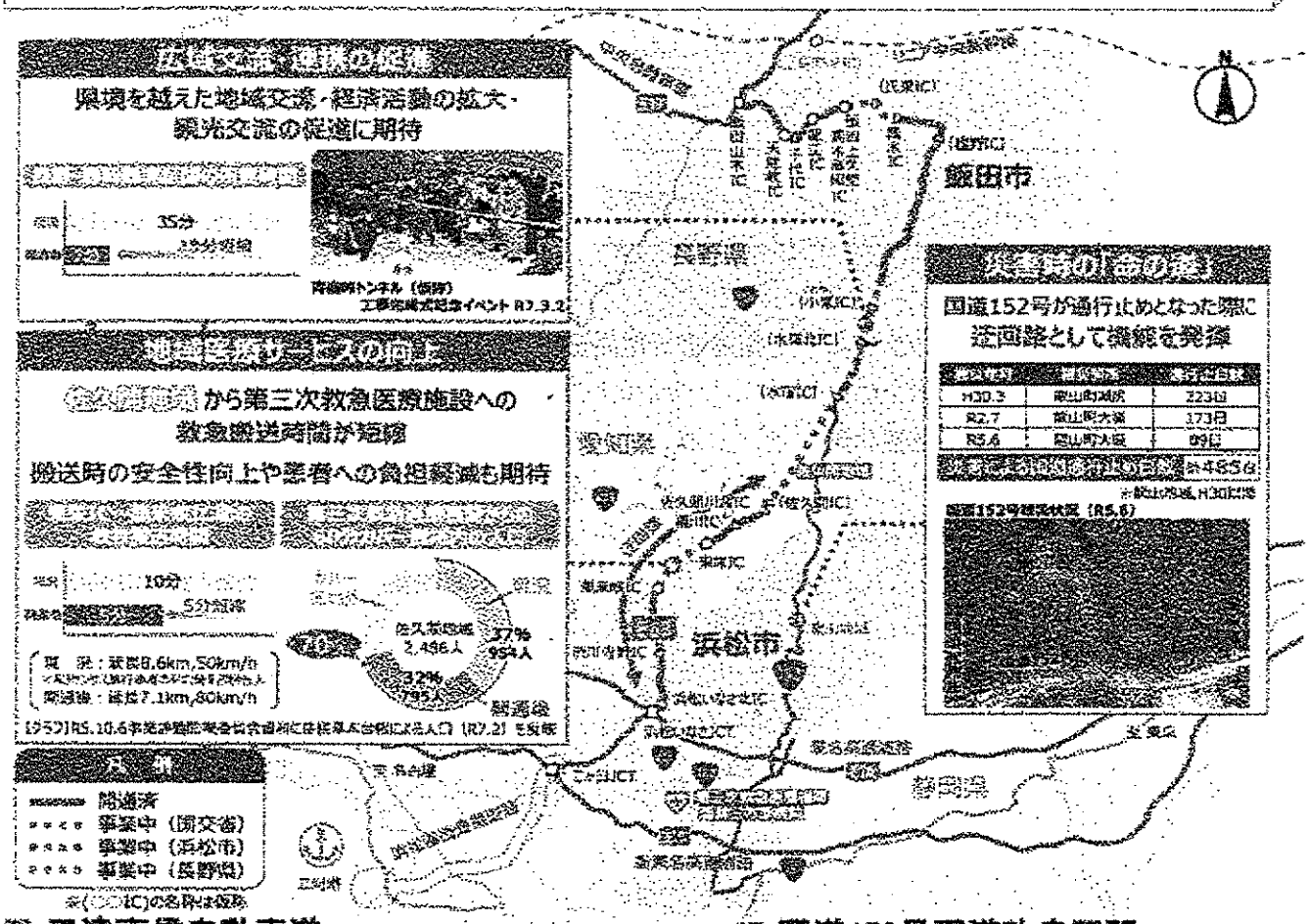
1．三遠南信自動車道の整備促進と青崩峠道路の開通見通しの早期公表
2．国道152号現道改良区間の事業推進に対する予算確保



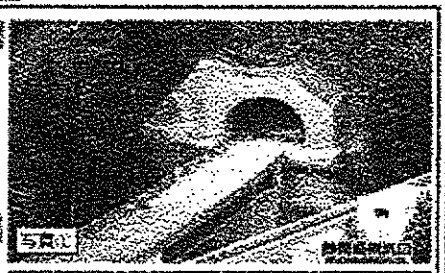
注）（○○IC）の名称は仮称

三遠南信自動車道の整備促進と国道１５２号現道改良区間の事業推進

1．三遠南信自動車道の整備促進と青崩峠道路の開通見通しの早期公表
2．国道152号現道改良区間の事業推進に対する予算確保



三遠南信自動車道



青崩峠道路
・青崩峠トンネル(仮称)の本坑が完成（写真①）
・引き続き、電気・通信設備等の工事を推進



永源佐久開道路
・昨年度までに引き続き、本年度も用地買収を推進

佐久開道路・三遠道路
・令和７年度の開通に向け工事を推進（写真②）

工事の推進及び早期供用
青崩峠道路の開通見通しの早期公表

国道152号現道改良区間





拡幅工事施工状況

三遠南信自動車道と一体として計画的かつ着実に進めるための必要な予算の確保

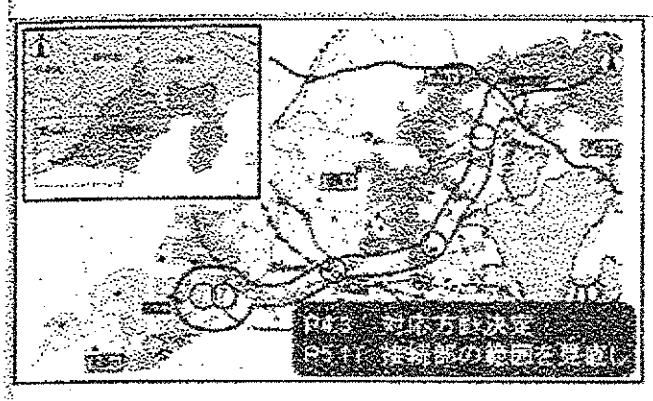
国に対する要望事項

浜松市　NO. 4

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について
要　旨	（要望内容） 浜松湖西豊橋道路は、三遠南信自動車道と一体となり、東名・新東名高速道路等といった東西交通の大動脈を、南北につなぐ道路ネットワークを形成し、物流の効率化、広域防災、観光エリア間の連絡性・速達性向上に資する重要な道路です。 本市としても都市計画決定や環境影響評価の手続きを確実に進めて参りますので、早期に事業着手するよう要望します。

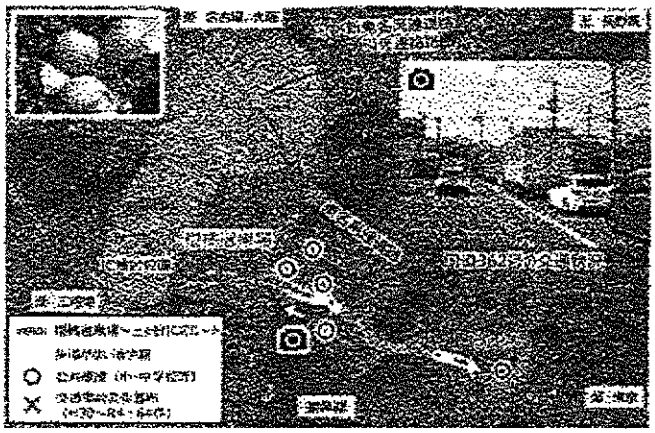
浜松湖西豊橋道路の早期事業着手

1．浜松湖西豊橋道路の早期事業着手

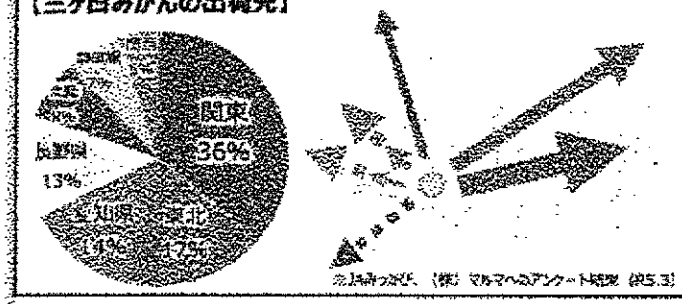


■三ヶ日みかんの出荷拡大・安全性の向上

【三ヶ日みかんの出荷ルート】



【三ヶ日みかんの出荷先】



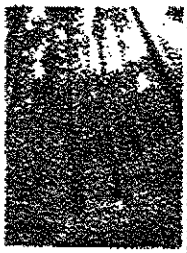
出典：みっぱ、(株) マルマへのアンケート結果 (R5.3)

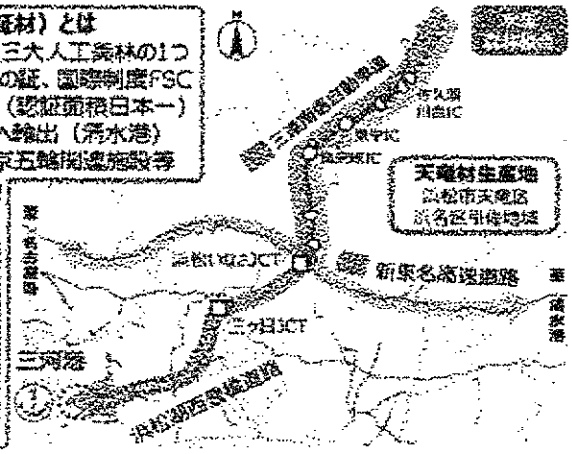
【期待される効果】
- 愛知県内・関西方面への出荷拡大や、三河港から東南アジアへの輸出拡大に期待
- 三ヶ日市街地を大型車が通ることによる事故リスクの軽減に期待

■速達性の向上 ～「天竜材（FSC認証材）」の海外競争力強化～

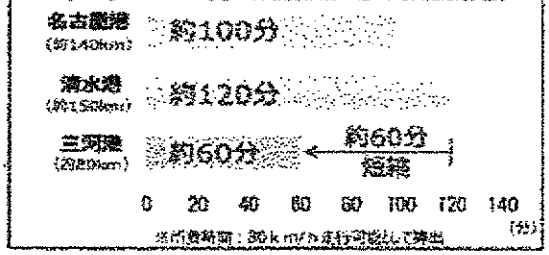
天竜材（FSC認証材）とは
- 天竜地域は日本三大人工美林の1つ
- 適切な森林管理の証、国際制度FSC森林認証を取得（認証面積日本一）
- 台湾・ベトナム等へ輸出（清水港）

※使用実績：東京五輪関連施設等





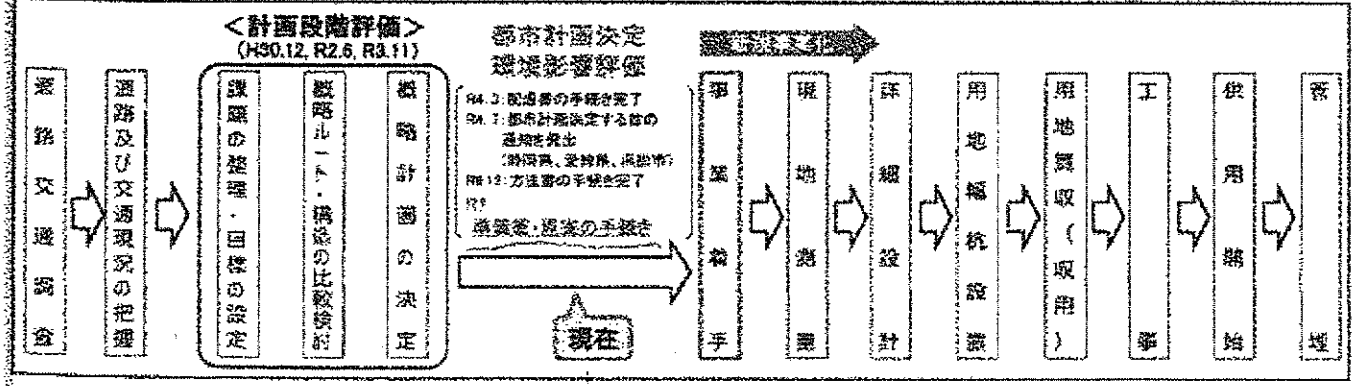
【水窪森林組合～港湾までの所要時間】



※所要時間：30km/h走行可能として算出

【期待される効果】
- 天竜材の生産地から、三河港へのアクセス性が向上
- 大幅な輸送コストの削減に期待

■進捗状況



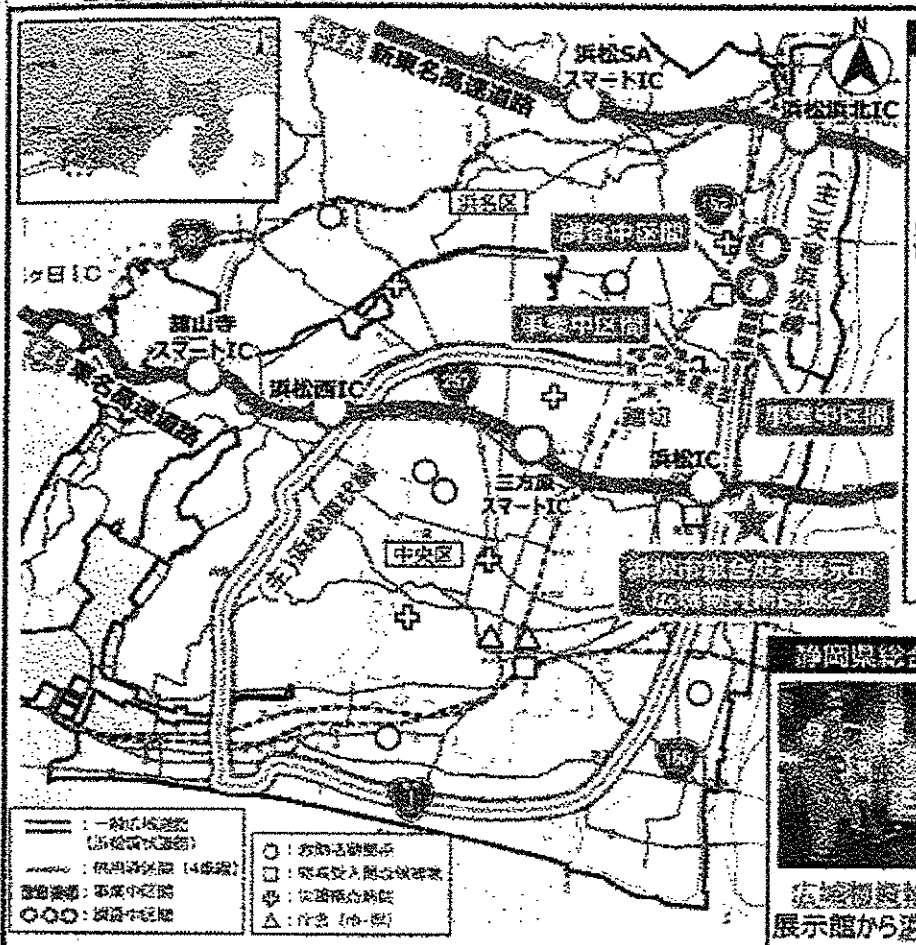
国に対する要望事項

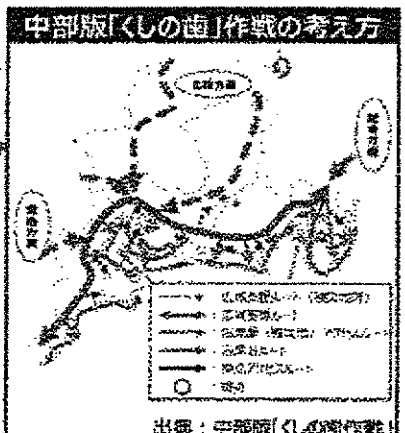
浜松市　NO. 5

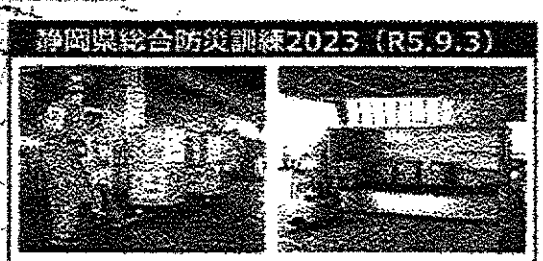
国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課・道路保全課
事項名	災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について
要　旨	**（要望内容）** 本市が事業を推進する主要地方道天竜浜松線及び主要地方道浜松環状線は、一般広域道路「浜松環状道路」の一部を形成し、東名高速道路と新東名高速道路、災害時の広域物資輸送拠点等を連絡する重要な道路であるとともに、主要地方道浜松環状線は、重要物流道路に指定されていることから、物流の更なる円滑化を図る観点からも重要な道路です。 しかし、主要地方道浜松環状線の踏切部は、渋滞のボトルネックかつ、早期の道路啓開が困難な状況であることから、道路の４車線拡幅と併せた鉄道立体交差化が必要です。 このことから、発生が予想される南海トラフ巨大地震や激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守る、災害に強い道路ネットワーク機能を強化するため、国土強靭化に資する緊急輸送道路等の整備に必要な予算を確保するよう要望します。併せて、国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。

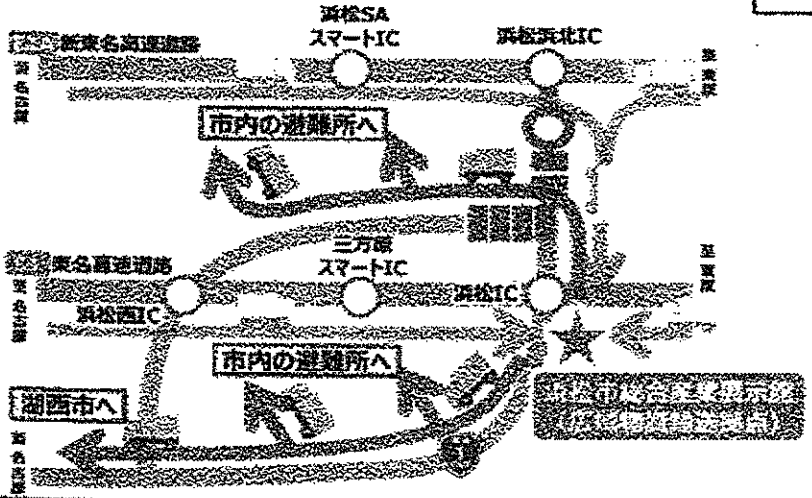
災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進

1．災害に強い道路ネットワーク機能の強化に必要な予算の確保
2．国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とすること









（主）天竜浜名湖線及び（主）浜松環状線と新東名高速道路及び東名高速道路との連絡

広域物資輸送拠点への搬入ルートのダブルネットワークが構築

（主）浜松環状線及び国道362号バイパスの機能強化

広域物資輸送拠点から市内への安定的な配送ルートが構築

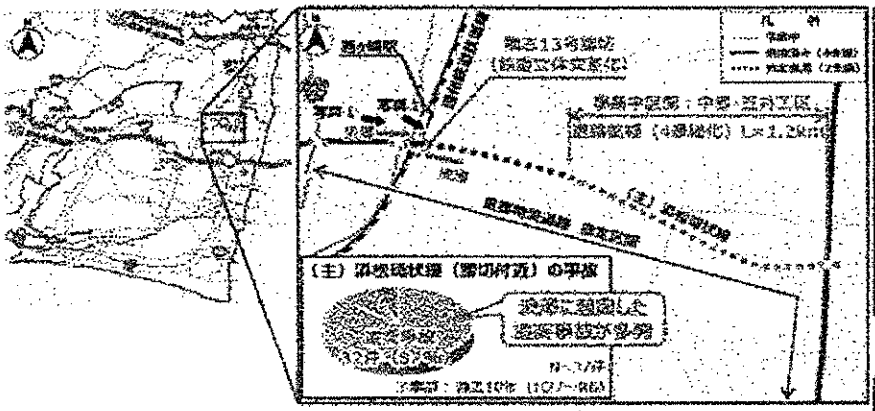
災害に強い道路ネットワーク

切迫する大規模地震や激甚化・頻発化する気象災害から命と暮らしを守る災害に強い道路ネットワーク機能を強化

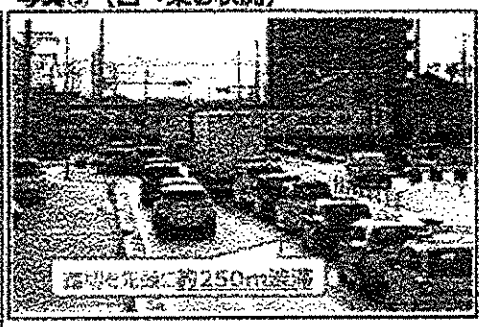
災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進

＜踏切部の課題と鉄道立体交差化・4車線化による整備効果＞

【現況の踏切（積志13号踏切）の課題】



写真①（西→東の状況）



写真②（東→西の状況）

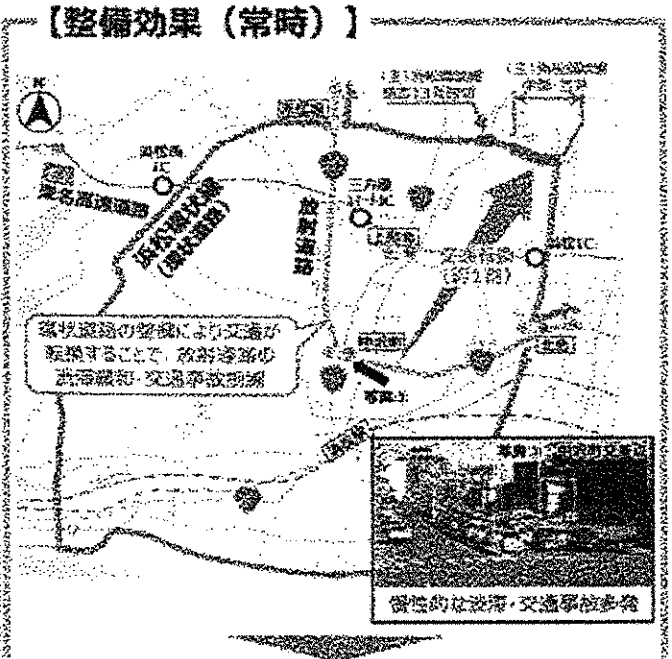


常時課題：踏切がボトルネックとなり、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生
：渋滞に起因して、踏切部周辺で交通事故（追突事故）が多発

災害時課題：「片側１車線＋踏切」構造のため、早期の道路啓開が困難

道路の4車線化と併せた鉄道立体交差化が必要不可欠

【整備効果（常時）】

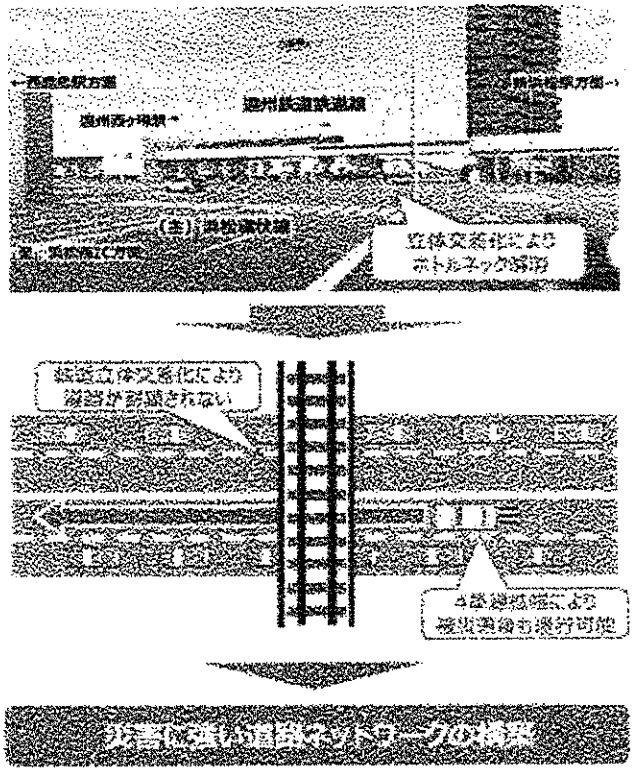


踏切渋滞の緩和により交通が転換することで、都市高速路の渋滞緩和・交通事故削減

ボトルネック（踏切）の解消による渋滞の緩和

救急機能の強化による都市交通の円滑化

【整備効果（災害時）】



災害に強い道路ネットワークの構築

国に対する要望事項

浜松市　NO. 6

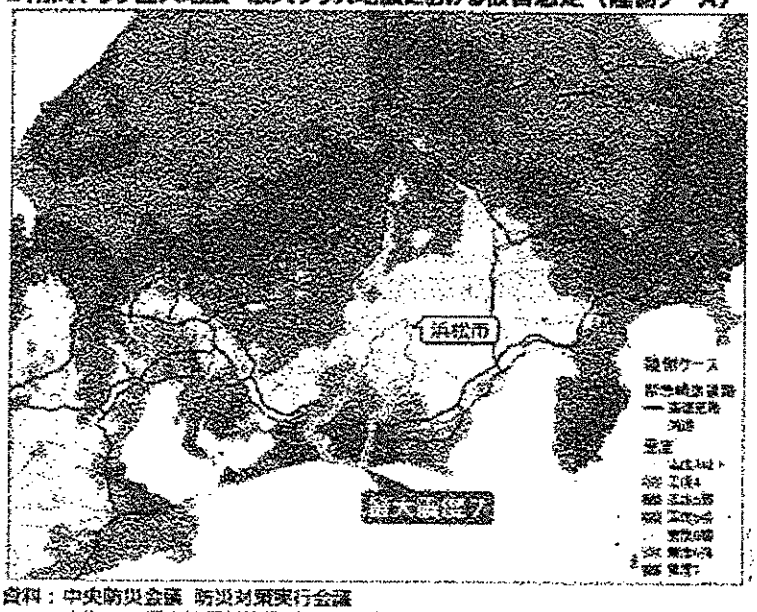
国の所管	国土交通省　道路局　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課・道路保全課　　上下水道部
事項名	防災・減災、国土強靭化の推進について
要　旨	**（要望内容）** 近年、自然災害が激甚化・頻発化するなか、令和６年能登半島地震に加え、昨年８月には日向灘を震源とする地震において政府として初の「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるなど、南海トラフ巨大地震発生の切迫性が高まっています。 令和７年３月に内閣府が公表した南海トラフ巨大地震の最大クラス地震における被害想定では、本市は最大震度７、最大津波高 17 mが想定されるなど、甚大な被害が予想されることから、緊急輸送道路等の橋梁耐震化や無電柱化、並びに災害時に持続可能な上下水道システムの構築に向けた耐震化が急務です。 橋梁耐震化対策については、緊急輸送道路に加えて災害対応拠点等までのラストワンマイルを含んだ道路ネットワークの強靭化を目指し、これらネットワーク上の全ての橋梁を対象とした橋梁耐震化の確実な推進が必要であり、無電柱化については、「中部くしの歯作戦」において高速道路と並ぶ最優先路線（STEP1）として選定されている主要地方道浜松環状線の無電柱化を早期に進め、有事における救急救命・物資運搬経路の確保が必要不可欠です。 上下水道システムの耐震化については、令和６年能登半島地震の被害を踏まえ、災害発生時の断水や下水管内の潜水を抑制することによる復旧の短縮化を図るため、急所施設（その施設が機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設）や市内に 99 施設ある避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等の耐震化を計画的かつ早期に推進する必要があります。 また、令和５年６月の台風２号に伴う豪雨では、土砂崩れや路肩崩壊など 100 箇所を超える被害が発生し、本市の中山間地域においては、基軸となる国道 152 号が寸断されたほか、令和６年能登（のと）半島地震における斜面崩落や孤立等の発生と同様の状況が想定されることから、道路斜面対策の更なる推進が必要です。

要旨	道路施設の老朽化対策については、橋梁修繕において１巡目点検結果による事後保全の措置が令和５年度内に完了し、現在は２巡目点検結果における事後保全の早期完了を目指しているため、継続的な予算確保が必要である。加えて、健全性Ⅱが増加していることや、架橋後50年を超過する橋梁は劣化速度が速いため、損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全型のインフラメンテナンスへの早期転換」が極めて重要です。 また、本市では約8,500kmの道路を管理しており、令和７年１月に埼玉県八潮市において発生した道路陥没事故などの教訓を踏まえると、舗装を適切に維持管理するための修繕も喫緊の課題です。 以上のことから、橋梁耐震化対策、無電柱化、上下水道システムの耐震化、道路斜面対策、及び老朽化対策を強力に推進するために必要な予算を確保するよう要望します。 併せて、国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。 また、大規模自然災害に即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むよう要望します。

防災・減災、国土強靭化の推進

＜南海トラフ巨大地震の発生が切迫＞

■南海トラフ巨大地震　最大クラス地震における被害想定（陸側ケース）



令和６年元旦
能登半島地震の発生

↓

令和６年８月
南海トラフ臨時情報発表（政府初）

↓

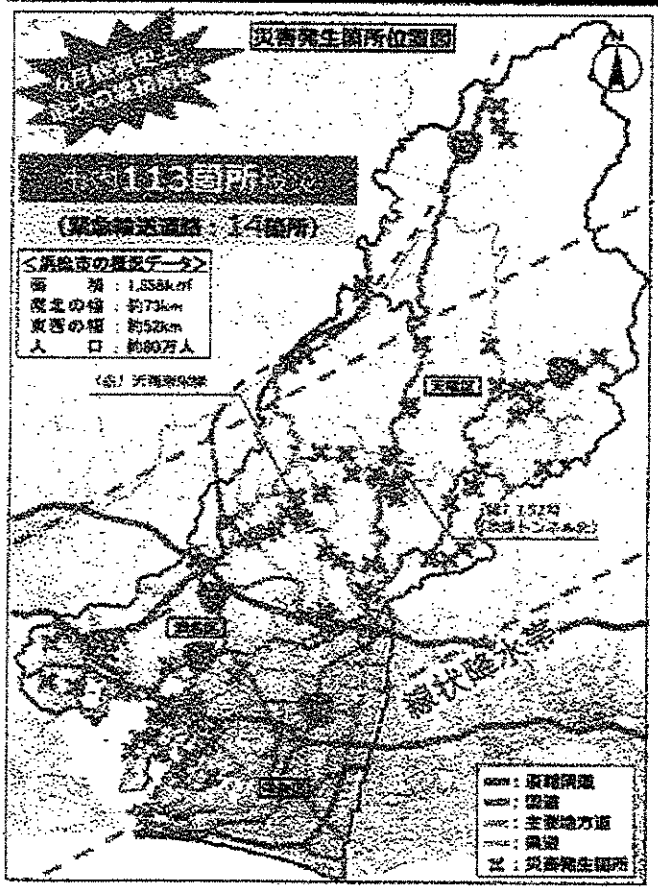
令和７年３月
南海トラフ巨大地震 被害想定 公表
浜松市：最大震度7，最大津波高17m

↓

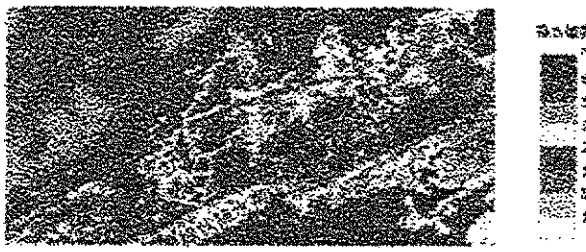
南海トラフ巨大地震の発生が切迫
浜松市は災害リスクが極めて高い

資料：中央防災会議 防災対策実行会議
南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ【令和7年3月】

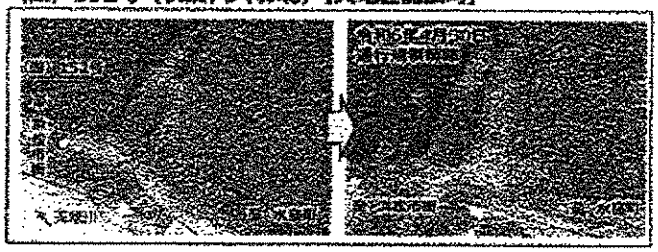
＜令和5年6月2日・台風2号に伴う豪雨による被害状況＞



線状降水帯の発生状況



（国）152号（秋葉トンネル北）【天竜区龍山町】



（主）天竜東栄線【天竜区長沢】

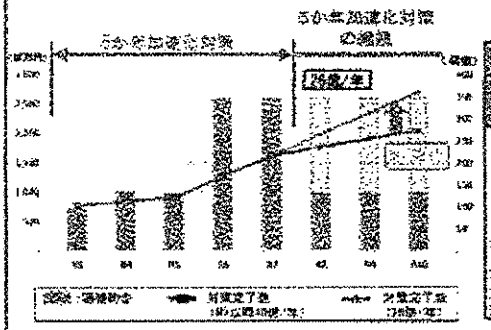


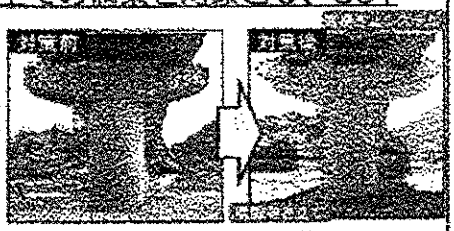
防災・減災、国土強靭化の推進

1．国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とすること
- 橋梁耐震化の加速化を図るために必要な予算の確保
- 無電柱化の着実な推進に必要な予算の確保

＜橋梁耐震化対策＞

浜松市では緊急輸送道路に加えて災害対応拠点等までのラストワンマイルを含んだネットワークの強靭化を目指し、これらネットワーク上の全ての橋梁を対象とし、361橋の耐震化を推進（R13年度対策完了予定）。

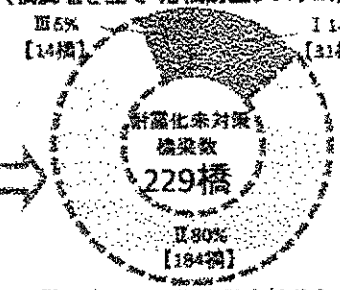




橋梁の耐震補強
（橋脚巻き立て・落橋防止システム）

対策済：132橋（37%）
（R6年度末）

対策費用：
約120億円必要



耐震化未対策橋梁の健全性分布

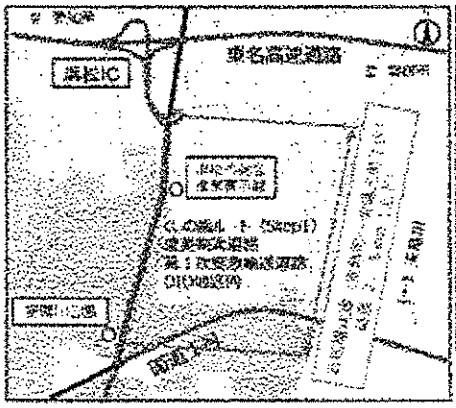
橋梁修繕の着実な措置が進められていることから、耐震化未対策の229橋のうち、約80%が健全性Ⅱの状況。

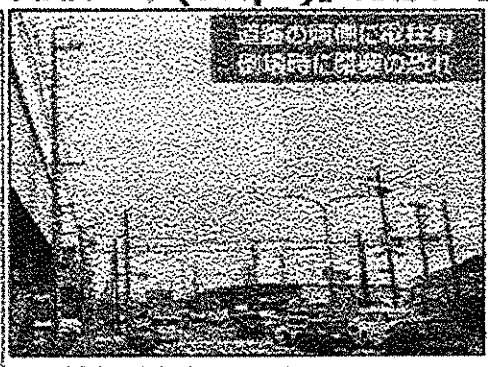
[redacted]

「救援する強靭な道路」とするには、橋梁の修繕と合わせた橋梁の耐震化を加速化するための予算確保が必要

＜無電柱化対策＞

【市管理道路で唯一の「くしの歯ルート(Step1)」において無電柱化を推進】





（主）浜松環状線の現在の状況



東名浜松IC付近

電柱倒壊による道路閉塞を防ぎ、救急救命、緊急物資輸送など緊急車両の通行を確保するには、無電柱化対策を推進するための予算確保が必要

防災・減災、国土強靭化の推進

・道路斜面対策事業の加速化に必要な予算の確保
・事後保全の予算確保の継続及び、予防保全型メンテナンスへの早期転換に必要な予算の確保

＜道路斜面対策＞

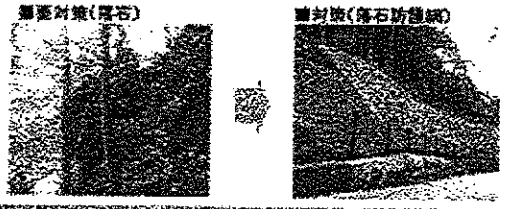
道路斜面対策 177箇所

対策済:104箇所（59%）（R6年度末）

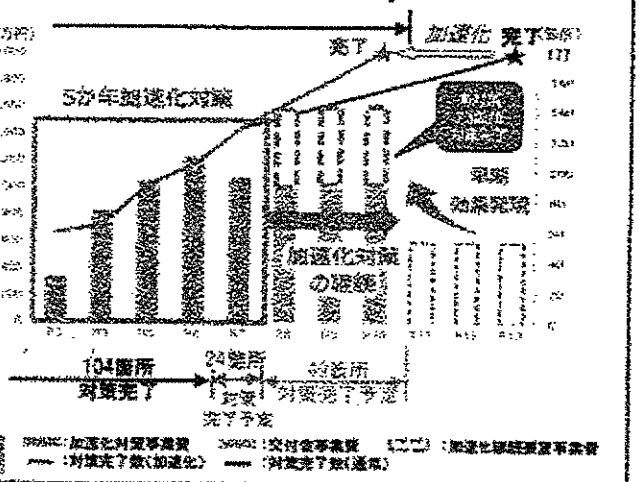
未対策73箇所も早期対策が必要

対策費用 約48億円必要

※今後の点検により対策が必要な箇所が増える可能性あり



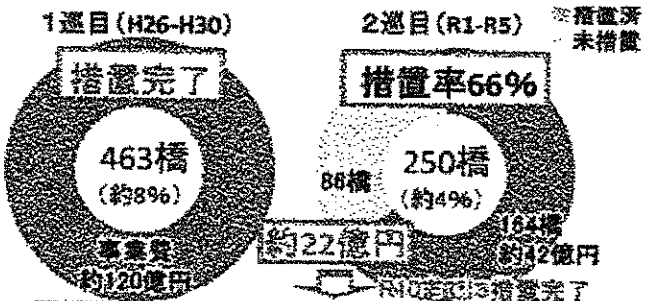
浜松市国土強靭化地域計画（~R10）



道路斜面対策の加速化には、継続的な予算確保が必要

＜道路インフラ老朽化対策（橋梁）＞ ※管理橋梁数：5,773橋

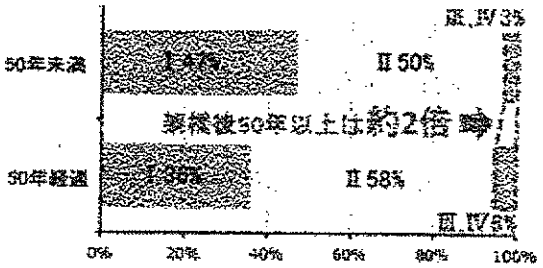
【健全性Ⅲ・Ⅳ橋梁措置状況 (R6年度末)】



未措置73橋

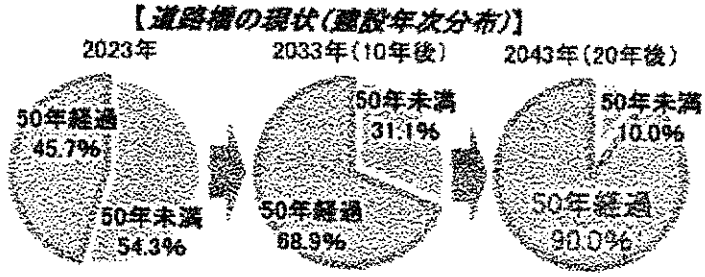
残り104橋の措置が必要

【建設から50年以上経過した道路橋の健全性】



架橋後50年以上の経過した橋梁の健全性低下が顕著
健全性Ⅱ以下の割合は、50年未満に比べて2割増、健全性Ⅲの割合は2倍

【道路橋の現状（建設年次分布）】



20年後には50年を経過する橋梁が9割

＜架橋後50年以上の健全性低下＞
＜対策箇所増加、架橋後50年超の急増＞

予防保全型インフラメンテナンスへの早期転換には更なる予算確保が必要

国に対する要望事項

浜松市　NO. 7

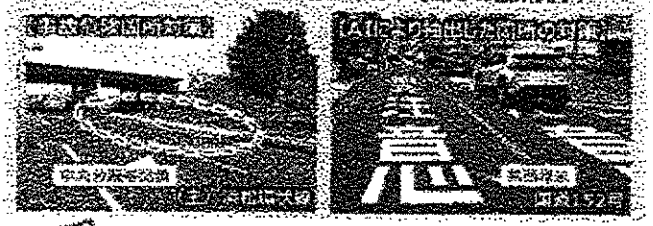
国の所管	国土交通省　道路局　　財務省
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	交通事故のない安全・安心な道づくりの推進について
要　旨	**（要望内容）** 本市は、交通事故件数の削減を目指し、浜松市交通事故防止対策会議にて、平成27年度から「ワースト1※脱出作戦」をスタートさせ、ハード・ソフト両面から交通安全対策を推進しています。 幹線道路等の事故危険箇所においては、交差点改良や中央分離帯開口部の閉鎖、路面標示等を実施し、生活道路においては、「ゾーン30プラス」の積極的な導入により、昨年度新たに設定した1地区を含め、計5地区の対策を完了したところです。 また、通学路の安全性向上を図るために、「通学路交通安全プログラム」に基づき、歩道整備やグリーンベルト設置等の対策を実施しています。 加えて、ＡＩを活用したデータ分析の活用により潜在的な危険箇所の抽出・対策を実施するとともに、事故を他人事としない交通安全意識を高めるために「生命（いのち）のメッセージ展」を開催するなど、地域や関係機関と連携したソフト対策も着実に推進しています。 この結果、令和6年末の年間人身交通事故件数は、作戦開始前の平成26年と比較して、約5割減の4,795件まで削減されましたが、依然としてワースト1脱出には至っておらず、事故類型をみると、10年前と変わらず幹線道路における追突事故と、生活道路における出会い頭事故が全体の約7割を占める傾向であるとともに、近年では、小学生が死傷するなど悲惨な事故も毎年発生しています。 このため、交通事故の現状をしっかりと受け止め、人命を守ることについて今一度見直すとともに、ハード・ソフト両面からの対策により交通事故の削減を加速化することが急務であることから、幹線道路等における事故危険箇所対策への支援の重点化及び通学路等の生活道路対策に対して継続的に支援するよう要望します。 ※ 政令指定都市における人口10万人当たりの人身交通事故件数

交通事故のない安全・安心な道づくりの推進

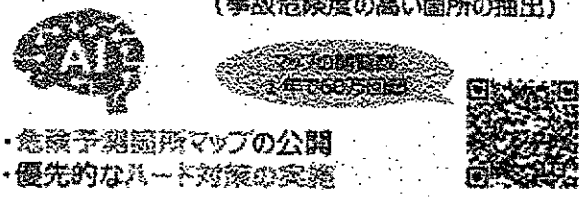
1．幹線道路等の事故危険箇所対策への支援の重点化、生活道路対策への継続支援

【幹線道路等における事故対策】

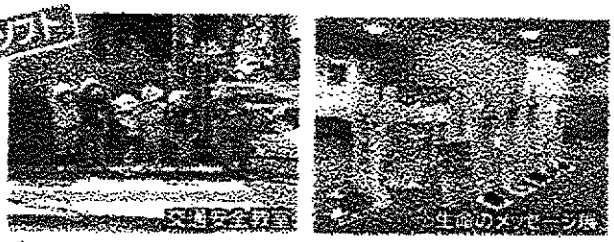
- R3指定の事故危険箇所51箇所について、R7末完了に向けてR6までに48箇所（94%）対策完了
- 大規模な交差点改良など抜本的対策の実施には安全的な予算確保が課題
- AIによるデータ分析で抽出された事故危険箇所について路面標示などの対策を実施（R6末時点で40箇所完了）



AIによるデータ分析
（事故危険度の高い箇所の抽出）



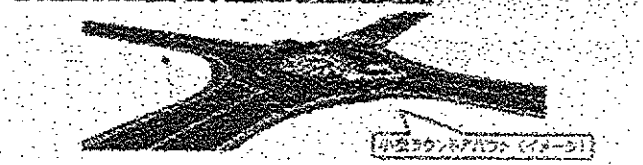
- 危険予測箇所マップの公開
- 優先的なハード対策の実施



【生活道路等における事故対策】

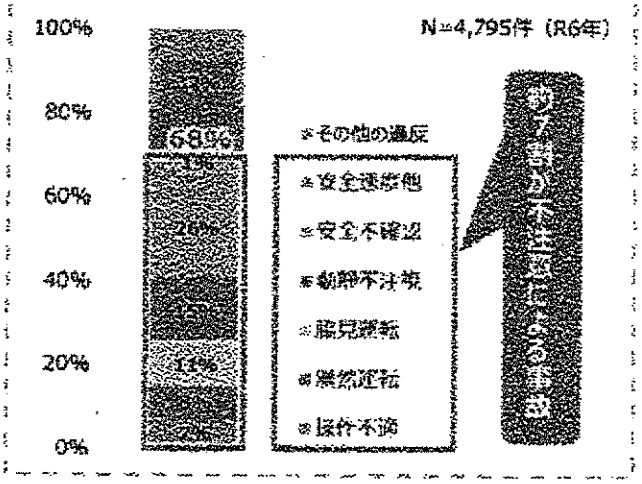
- R3緊急合同点検に基づく対策箇所（54箇所）全て対策完了、暫定対策の2箇所についても、R8完了を目指し個別補助事業により対策を推進
- 「通学路交通安全プログラム」に基づく要望箇所について、交付金等を活用し対策事業を推進
- ゾーン30プラスを積極的に導入（計5地区対策完了）
- 生活道路への小型ラウンドアバウト導入を検討



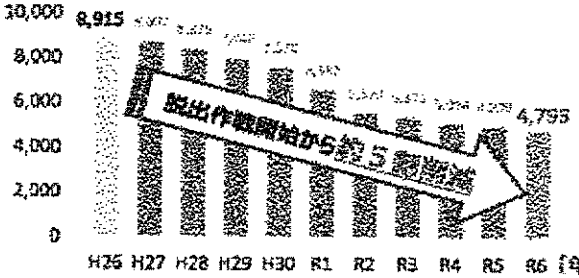


交通安全意識を高めるための啓発活動

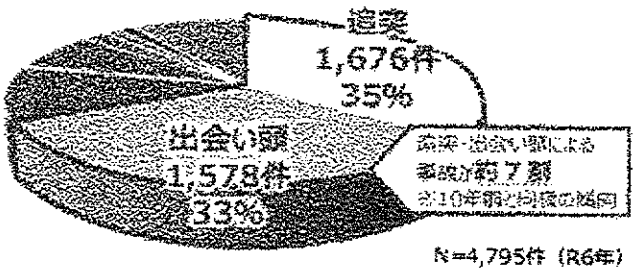
《人身交通事故の要因別割合》



《人身交通事故件数の推移》



《事故類型別人身交通事故件数》



ワースト1脱出作戦により、ハード・ソフト両面から交通事故対策を推進してきたことで、
交通事故は約5割削減されたが、依然としてワースト1脱出には至っていない

交通事故の削減をさらに加速化するためには、事故危険箇所対策への支援の重点化と通学路等の生活道路対策への継続的な支援が必要

国に対する要望事項

浜松市　NO. 8

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	流域治水への財政支援について
要　旨	（要望内容） 本市で実施する「流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューを計画的かつ着実に推進するため、継続的な補助事業等への予算確保を図るよう要望します。 特に市内で大きな浸水被害がたて続けに発生しており、令和４年９月の台風15号では市内一円で警戒レベル５緊急安全確保が発令され、近年最大となる約２千棟の家屋浸水被害となりました。また、令和５年６月には、台風２号に伴う豪雨により、五反田川の越水や、九領川流域などにおいて、浸水被害が発生しました。 激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守るため、一刻も早い河川整備や貯留機能確保等の流域治水対策を行えるよう、国土強靭化実施中期計画の着実な推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。。 また、「緊急自然災害防止対策事業債」の期間を延長し、流域治水対策を引き続き強力に支援するよう要望します。

流域治水への財政支援

1．国土強靱化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とすること
2．「緊急自然災害防止対策事業債」の期間延長

■令和4年9月 台風15号　等

台風15号等に伴う豪雨により、複数の河川で**警戒レベル5**を相当

■令和5年6月 台風2号に伴う豪雨

6月観測史上最大の降雨量556mmを観測



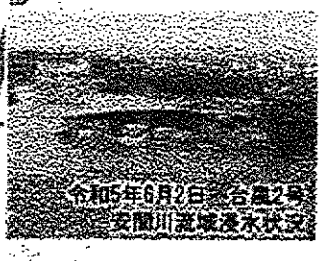


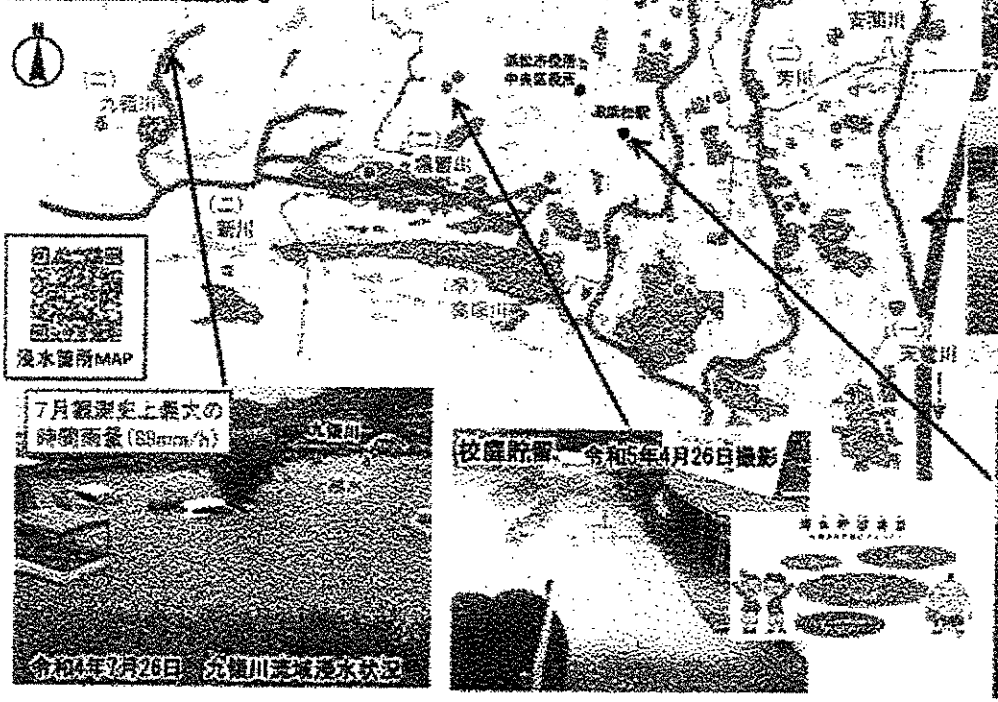














近年、最大の浸水被害となった令和4年台風15号や令和5年台風2号など、激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守るため、必要な予算確保及び安定的な予算の確保が必要

国に対する要望事項

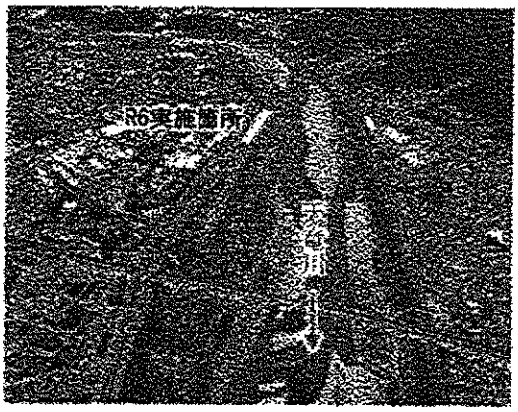
浜松市　NO. 9

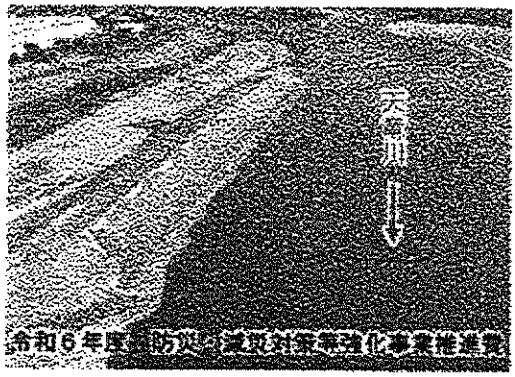
国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川の河川事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川の堤防強化や河道掘削、樹木伐採など、必要な予算を確実に確保するとともに更なる河川事業の促進及び加速化を図るよう要望します。 また、河道掘削で発生した土砂は遠州灘海岸侵食抑制のための養浜事業へ活用し、静岡県が継続的に実施している養浜事業に対して助成を図るよう要望します。 さらに、大規模自然災害発生時において自治体職員だけでは対応が困難な場合に、被災した自治体の支援を行う「ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ」の体制・機能の拡充・強化を図るよう要望します。

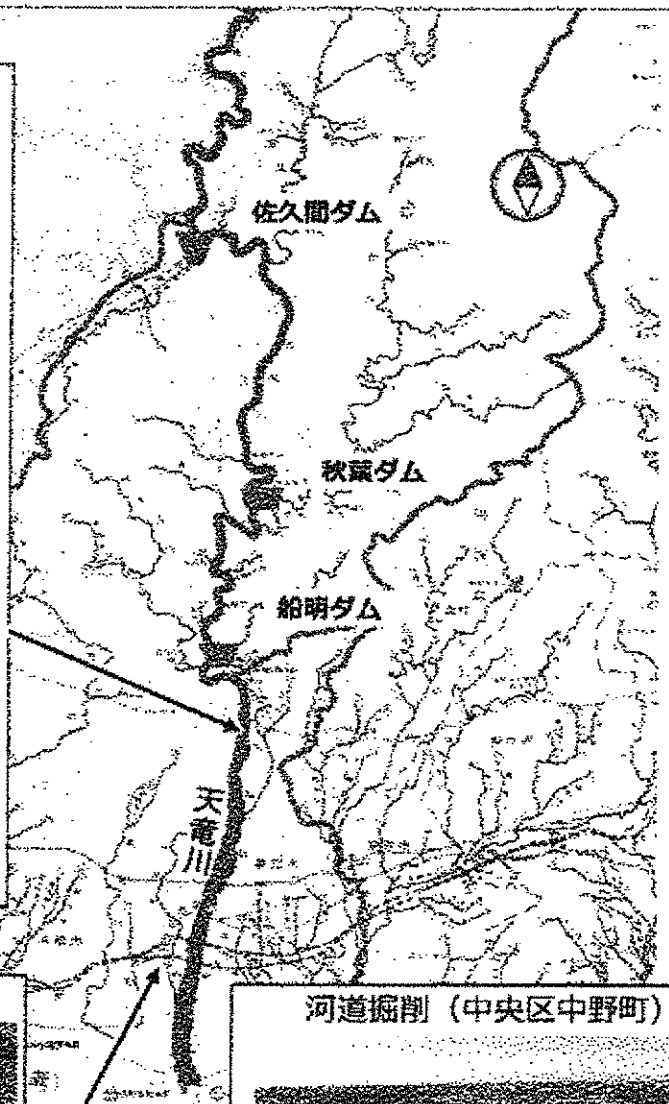
天竜川の河川事業の促進

「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
1．治水事業全体の必要な予算確保
2．堤防強化や河道掘削などの河川事業の促進及び加速化
3．TEC－FORCEの体制・機能を拡充・強化

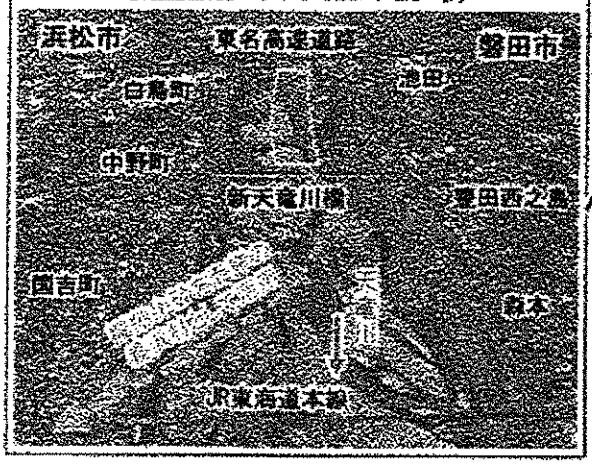
堤防強化（浜名区上島）



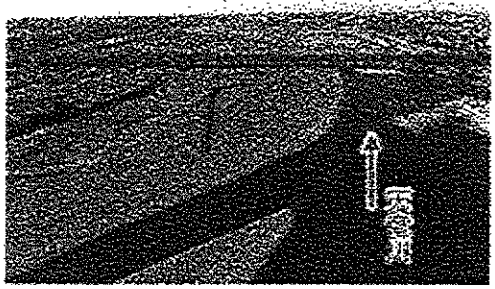




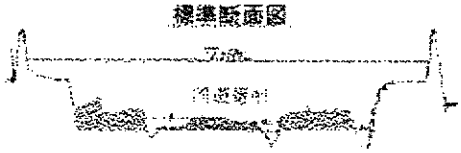
河道掘削（中央区中野町）



河道掘削（中央区中野町）



標準断面図



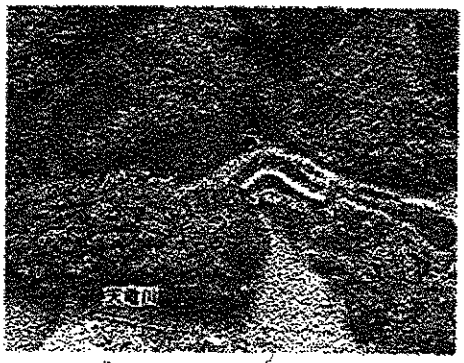
国に対する要望事項

浜松市　NO. 10

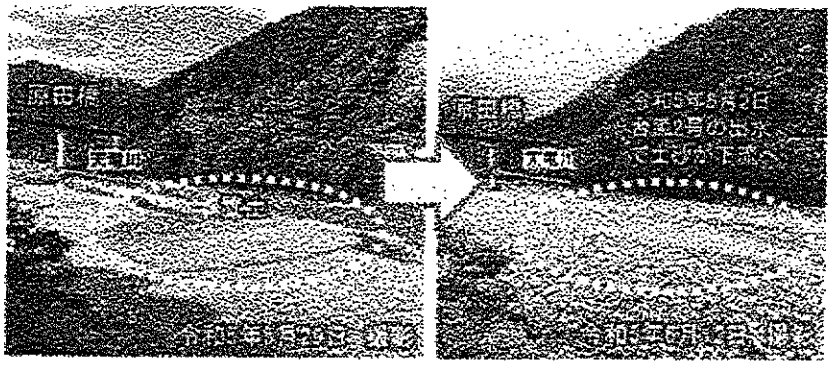
国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川ダム再編事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 佐久間ダムの集水面積は天竜川流域全体の約75%を占めています。これまで利水専用ダムであった佐久間ダムへ新たに洪水調節機能を確保することは天竜川中下流部の治水対策の要です。 また、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久的な堆砂対策を実施することにより、土砂移動の連続性が確保され、遠州灘海岸の侵食抑制にも効果が期待できます。 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川ダム再編事業の促進及び加速化を図るよう要望します。

天竜川ダム再編事業の促進

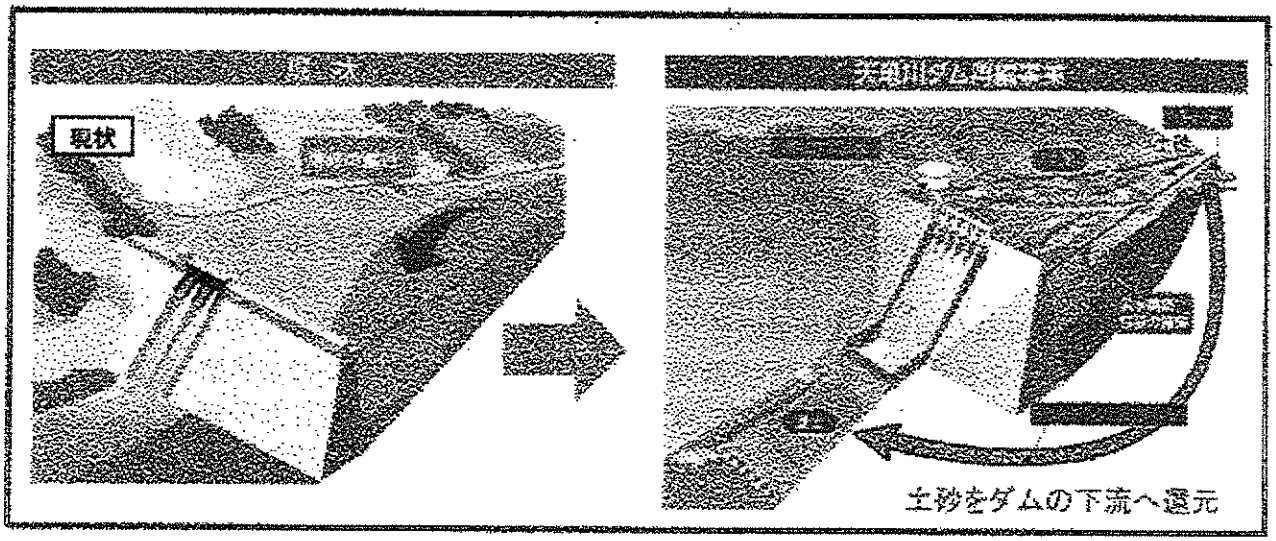
「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
・佐久間ダムの洪水調節に必要な施設及び恒久的な堆砂対策施設の整備を促進し、早期に洪水調節及び土砂移動の連続性を確保



ダム下流工事道路の整備

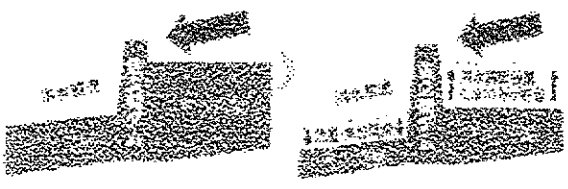


置土による土砂還元等を実施



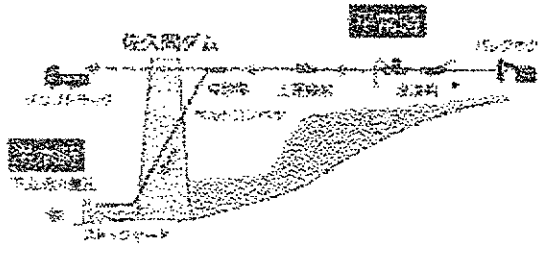
洪水調節

上流域の大雨による洪水をダムへ貯めることにより、下流河川を流れる洪水量を減らして、河川からの溢れや、堤防が壊れることを防ぐ。



土砂還元

平常時にダム発生土をダム下流側のストックヤードに運搬・集積して、洪水時にダム放流水を利用し、河川へ還元することにより、遠州灘海岸の侵食を抑制する。



国に対する要望事項

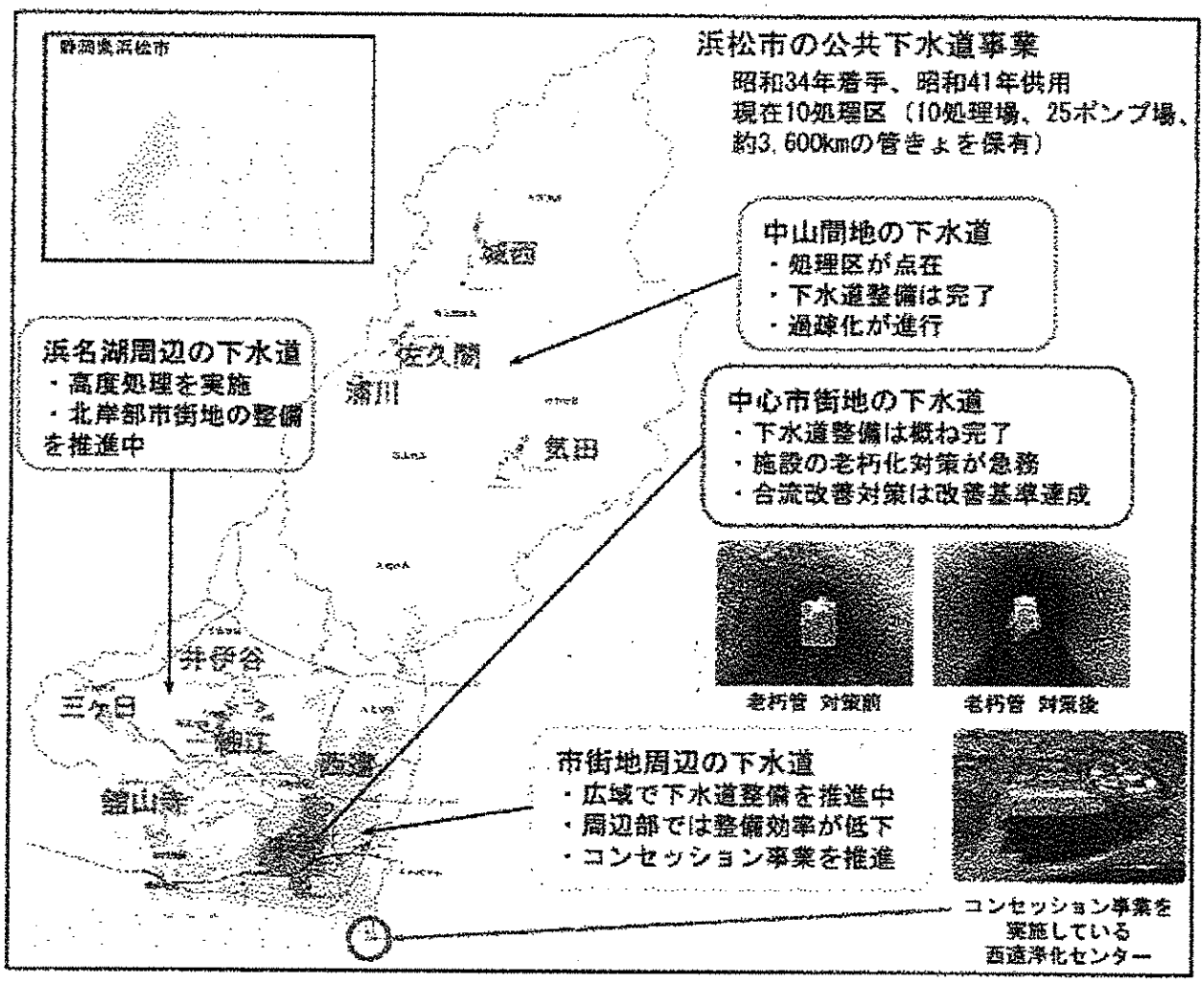
浜松市　NO. 11

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局
市の所管	上下水道部　下水道工事課
事項名	多様な役割を担う下水道事業の推進について
要　旨	（現　　状） 本市の下水道事業は、昭和34年に事業着手して以来、60年を少し超えたところです。その間12市町村合併などを経て、現在10処理区、約3,600kmの管きょストックと、10処理場、25ポンプ場を保有しています。 令和6年度末の下水道処理人口普及率は82.0%、汚水処理人口普及率は91.7%であり、下水道と合併処理浄化槽それぞれの事業特性を活かした整備を進めるための「浜松市汚水処理10年プラン（H28-R7）」を策定し、令和7年度末汚水処理人口普及率95%を目標とし、事業運営に取り組んでいます。 また、地震対策や浸水対策、老朽化対策、地球温暖化対策など下水道に求められる役割も多様化してきており、これらを着実に進めていく必要があります。 特に老朽化対策では、管の破損による道路陥没など社会活動への影響が懸念され早急な対策が必要です。布設後30年を経過したコンクリート管・陶管は令和5年度末で約584kmですが、10年後には約670kmと急増する見込みです。 本市においては、下水道事業としては日本初となるコンセッション事業を導入する一方、平成29年度には12.9%の下水道使用料改定を行うなど、効率的な事業運営や地震対策等の財源確保に努めているところです。 しかしながら、これらは現行の国庫補助制度や財政措置を前提としており、下水道施設の改築に対する国庫負担が縮減された場合には、更さらなる下水道使用料の改定や、一般会計への負担増加に結び付きかねません。必要な事業費が確保できなければ、施設改築の遅延、停滞により市民生活や社会経済活動に多大な影響が及ぶことが懸念されます。 令和6年1月に発生した能登半島地震においては、上下水道が住民の生活に極めて重要な施設であることが改めて認識されました。本市地域においても、今後発生するであろう南海トラフ巨大地震において、甚大な人的、物的被害が生じる想定があることから、これらへの備えとして、下水道施設の耐震化や機能確保、早期復旧に向けた体制構築など、国土強靭化に向けた取組を一刻も早く進めることが必須となっています。

要　旨	（要望内容） 下水道事業は、特定の受益者のみならず、公共用水域の水質保全、安心・安全な市民生活、社会経済活動の下支えなど、不特定多数が受益できる多様な役割（地震対策、浸水対策など）に対応するとともに、今後は改築事業が本格化する中で、持続可能な下水道経営に取り組んで行く必要があります。 浜松市の下水道事業が円滑に実施できるよう、次の事業における安定した事業費の確保と関係制度の維持・拡充について、格段のご配慮をお願いいたします。 1．下水道施設の改築に係る国費負担の継続 下水道は、地域から速やかに汚水を排除することによって公衆衛生を向上させるとともに、汚水を浄化・放流することによって公共用水域の水質を保全するなど、極めて公共性の高い社会資本であり、水質汚濁防止法でも国の責務が明示されています。 市民の安心・安全・快適な生活空間を確保し、社会経済活動への影響を回避するためには下水道が適切に管理運営されていることが重要であり、下水道の公共的役割に対する国の責務は、新設時も改築時も変わるものでは無いことを踏まえ、下水道施設の改築事業への国費負担を確実に継続的・安定的に確保されるようお願いいたします。 2．防災・減災対策の推進に向けた制度等の充実について 浸水対策において、平成27年の台風18号による浸水被害を受けて浜松市都市雨水対策協議会を設置し、「重点対策エリア」を設定した上で流域毎に整備指標を定めて対策を令和2年度から推進しています。 地震対策においては、能登半島地震における災害対応を踏まえ、上下水道一体の耐震化など、効率的な災害対応を推進します。 防災・減災対策は喫緊の課題である一方で、浸水対策や地震対策には多くの時間と費用を要することを踏まえ、以下の内容を要望します。 ・個別補助である大規模雨水処理施設整備事業について重点配分を継続すること。 ・上下水道耐震化計画に基づく、上下水道一体での下水道施設の地震対策を推進する制度の継続及び必要な財源を継続的に確保すること。

要　旨	3．安定的な事業費の確保 労務単価の上昇や、資材の高騰など建設事業費の増大が見込まれることから、必要な財源の確保をお願いいたします。 また、本市では西遠流域下水道の移管に伴い、平成30年度より20年間の公共下水道終末処理場（西遠処理区）運営事業（コンセッション事業）を実施していますが、長期にわたる契約期間において、安定かつ適切な事業運営を続けられるよう、安定的な財源の確保とともに支援制度等の拡充など、引き続きコンセッション事業を成功に導くための配慮をお願いいたします。

静岡県浜松市要望概要（下水道）



【下水道整備状況（R6 年度末）】

・汚水処理人口普及率　：91.7%

・下水道処理人口普及率：82.0%

【R8 概算要望額：4,290 百万円（国費）】

【要望要旨】 1．改築事業への国費負担の継続

・下水道施設の改築事業への国費負担の継続

【R8概算要望額：1,854 百万円（処理場・ポンプ場改築）】

2．防災・減災対策の推進に向けた制度等の充実について

・地震対策、浸水対策に係る財源確保と制度の継続

【R8概算要望額：802 百万円（地震対策・浸水対策）】

3．安定的な財源確保

・労務単価・資材高騰などによる建設事業費増大に対応する財源の確保

・コンセッション事業成功に導くための支援拡充

【R8概算要望額：1,634 百万円（施設改築、モニタリング）】

令和７年９月３日

令和８年度予算に関わる

要　望　書

遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援について

浜松市議会 自由民主党浜松

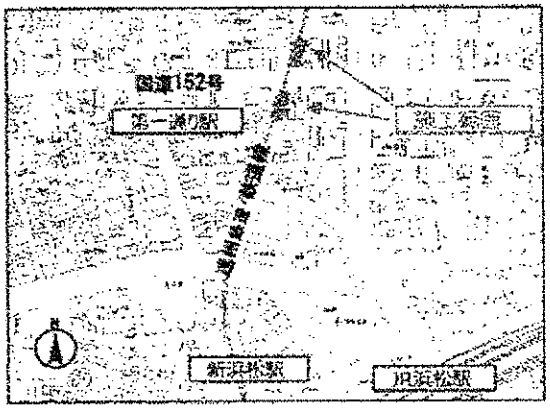
国に対する要望事項

浜松市

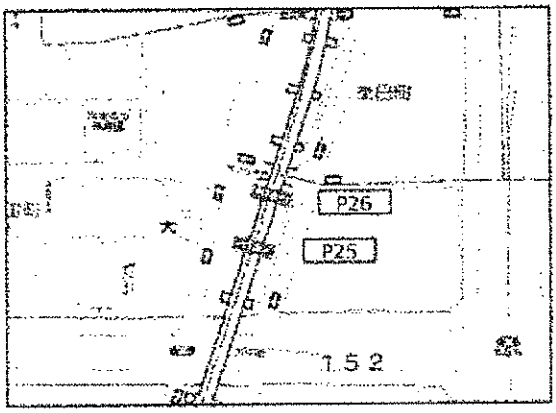
国の所管	国土交通省　鉄道局　施設課　　財務省　　内閣府
市の所管	都市整備部　交通政策課
事項名	遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援について
要　旨	（要望内容） 遠州鉄道鉄道線は本市の基幹路線であり、都心と地域拠点等を結ぶ公共交通機関として重要な役割を担っています。さらに鉄道高架下は鉄道利用者や中心市街地を行き交う市民で賑わう空間であり、南海トラフ巨大地震により橋脚が倒壊した場合には、公共交通機関への影響だけではなく道路、河川や近接する民間建築物に甚大な被害が予想されます。 鉄道高架橋の耐震化を実施することは、公共交通機関を維持確保するだけでなく、その高架下を利用する多くの市民などの安全と幹線道路や河川機能を確保することとなり、都市機能全体を維持するうえで必須です。 そのため、事業主体である遠州鉄道株式会社が実施する「遠州鉄道鉄道線耐震化事業」について、計画的かつ着実に進められるよう、必要な予算を確保するよう要望します。

遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援

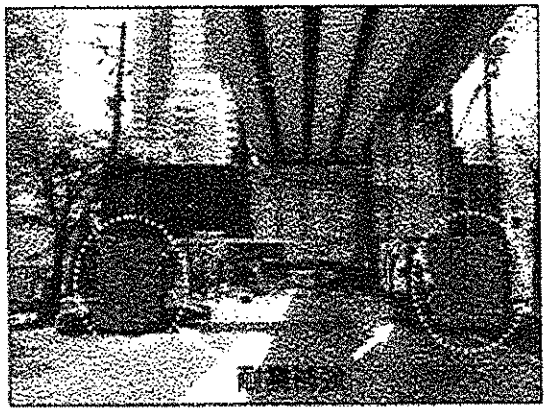
■施工位置図

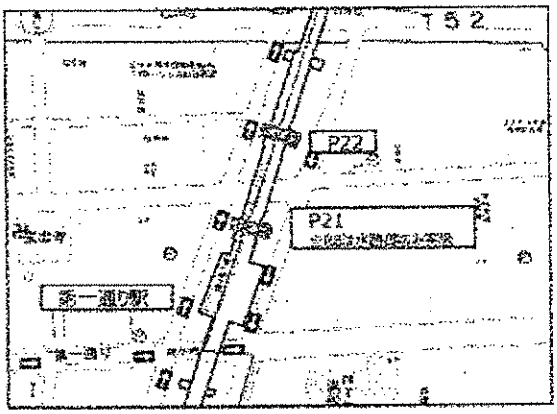


■拡大図



■耐震化（P22橋脚）



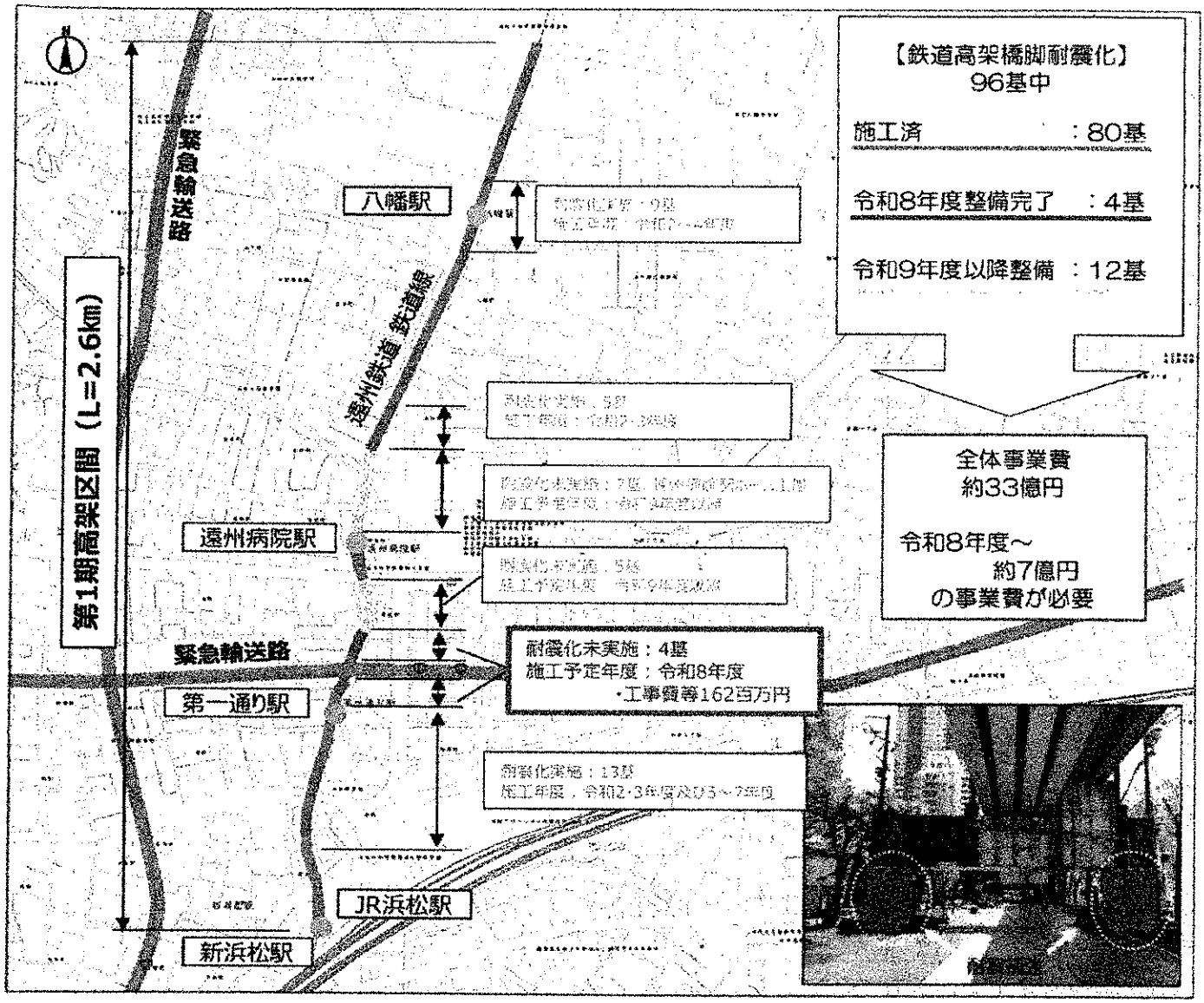


耐震補強は、門型橋脚補強4基が整備対象

耐震化事業費
R8工事費：約1.7億円

引き続き予算確保をお願いしたい

遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援



○耐震化状況

- 遠州鉄道鉄道線連続立体交差事業は、第1期高架事業（昭和60年度完成）、第2期高架事業（平成25年度完成）を実施
- 南海トラフ巨大地震に備え、第1期高架区間の耐震化は緊急性を要する
- 橋脚96基のうち、令和7年度末までに80基完了し、16基の耐震化が未整備
  （施工済：80基、令和8年度整備：4基、令和9年度以降整備：12基）

○R8予算要望内容

- 耐震化事業費　　**約1.7億円**（橋脚4基）

引き続き予算確保をお願いしたい

（様式６）　　E0962

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和７年　９　月１７日　（水）　１日間
出張先（目的）	東京都（衆議院第二議員会館・霞ヶ関） 衆議院議員会館及び・文部科学・財務・国土交通・農林水産・総務・厚生労働　各省庁 令和８年度予算に係る国要望・調査・勉強会

出張者氏名				
（１班　11名）	1班　平野　岳子	井田　博康	柳川樹一郎	高林修
	戸田　誠	倉田　清一	小野田康弘	神間　郁子
（２班　12名）	小泉　翠	中野　和幸	藤田　典良	
	2班　齋藤　和志	加茂　俊武	久米　丈二	辻村　公子
【計23名】	太田　康隆	澁美　誠	花井　和夫	鳥井　徳孝
	須藤　京子	松本　康夫	露木里江子	鈴木　裕之

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	355，810　円	往路（団体）復路（自由）新幹線チケット代　浜松駅⇔東京駅 23名分 （@7,560円＋@7,910円）× 23名分
〃	17，330　円	タクシー代 実費　1・2班 ①東京駅 ～ 議員会館　6台分 10,800円 （計12台分）　②霞が関 ～ 東京駅　6台分 6,530円
〃	7，840　円	移動電車代 ICカード 1班 ①国会議事堂 - 霞ヶ関 @178×10名×3回分 5,340円 （実費）　②上記区間 現金精算分 @180×1名×2回分 360円 ICカード 2班 ①国会議事堂 - 霞ヶ関 @178×10名×1回分 1,780円 ②上記区間 現金精算分 @180×2名×1回分 360円
日　当	34，500　円	@1，500円 × 1日 × 23名分
合　計	415，480　円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
		¥	4	1	5	4	8	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和７年　９　月１９日

代表者　会長　平野　岳子　[redacted]

〈詳細〉
・新幹線切符代　１件　【9/16 支払（株）サニートラベル】
・9/17 現地移動 電車代・タクシー代　実費　　別紙 領収書添付

お客様No. 0047

請　求　書

No. 1- 1

25 年 9 月 30 日 締切分 (30)

<静岡県知事登[redacted]2-370号>
株式会社サニートラベル
[redacted]
〒433-8125
静岡県浜松市中[redacted]936番地の503
TEL 053-476-0432 FAX 053-476-0565

浜松市議会　自由民主党　浜松 御中

<振込先> 静岡銀行　葵町支店(普) 0346193
浜松いわた信用金庫 和合支店(普) 0648180
遠州信用金庫　本店営業部(普) 1080162

TEL:　　FAX:

担当者 [redacted]
登録番号：T8080401001994

前回御請求額	繰越金額	調整額	御入金額	御買上額	内消費税等	今回御請求額		
			0	355,810	32,346	¥355,810		

伝票日付	伝票No.	内容	数量	単価	金額	税率	
25/ 9/16	945	ＪＲ代 9/17往路	23	7,560	173,880	*10.0%	国枠(含む)
		ＪＲ代 9/17復路	23	7,910	181,930	*10.0%	
		【合　　計】			355,810		
		(内消費税等)			32,346		
		税率 課税対象額 消費税等					
		10.0 ¥323,464 ¥32,346					

No 13849

領収証

7年 1月 6日

浜松市議会自由民主党浜松 様

[redacted] 355,810 円

(但) 内訳(上記金額)

内訳
現金
小切手
振込

御座いがとうございます。上記の通り領収致しました。

[redacted]
¥200円

株式会社 サニートラベル
[redacted]
TEL 053 4[redacted]
FAX (053) 4[redacted]

担当 [redacted]

T8080401001994

注)※印は軽減税率(8%)適用商品

上記振込先に　　月　　日までにお振込みください。
振込手数料は貴社(貴方)ご負担にてお願い申し上げます。

E0902　9月支払分（岩渕陳情活動費）

（様式６）
9/17　国会要望時 タクシー利用料

【1・2班】東京駅 ➡ 衆議院第二議員会館（6台）

領収書
No.3999
日付 '25年09月17日
車番 0728
メータ運賃 ¥1,800-
合計金額 ¥1,800-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
お忘れ物・お気付きの点は当社へ
登録番号：T3011701003089
小松川タクシー株式会社
東京都江戸川区松島１－３２－２０
ＴＥＬ０３－３６５４－２２１１

領収書
No.1436
日付 2025年09月17日
車番 0226
運賃 ¥2000-
合計 ¥2000-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました

大和自動車交通王子㈱
☎ 03-6903-0151
無線配車センター
☎ 03-3563-5151
登録番号：T6010801024471

予約のできるタクシーアプリ
S.RIDE(エスライド)
ダウンロードはこちら

領収書
現金・チケット・クーポン・割引 No.6804
日付 2025年09月17日
車番 151690
運賃 ¥2000-
合計 ¥2000-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
DAIWA TAXI GROUP
政和自動車株式会社
東京都足立区十住[illegible]
TEL 03-3888-3195
タクシーのご用命は無線配車センター
TEL 03-3563-5151
登録番号
T8011801009048

領収書
現・チ・ク・割引 No.3678
日付 '25年09月17日
車番 0128
メータ運賃 ¥1,800-
合計金額 ¥1,800-
内消費税等 ¥163-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
お忘れ物、お気付きの点は当社へ
七福交通株式会社
TEL 03(3684)1729
登録番号：T3010601003488

領収書

車両番号 1387号
2025年09月17日11:03
毎度ご乗車ありがとうございます
(現金,チケット,クーポン,カード)

乗車料金 1500円
運賃料金計 1500円
計 1500円
消費税率 10.0%

日本交通株式会社 登録番号：T6011501021982
日本交通 千住営業所
お忘れ物は、忘れ物検索サービスFindへ
ORを読み込み、Lineからお問い合わせ
その他はカスタマーサポートデスクへ
TEL:050(3173)9200 平日8:00～17:00

領収書
現・チ・ク・割引 No.8776
日付 '25年09月17日
車番 0414
メータ運賃 ¥1,700-
合計金額 ¥1,700-
内消費税等 ¥154-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
お忘れ物、お気付きの点は当社へ
東京七福交通㈱
TEL 03(3684)1729
登録番号：T8011501007715

6台
合計 10800円

（様式６）
9/17　国会要望時 タクシー利用料

【1班】国交省 ➡ 東京駅（3台）

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。

ドア番号　1451

2025年09月17日

運賃	900円
運賃料金計	900円

計　900円

(株)グリーンキャブ江戸川
〒132-0035 江戸川区平井6-2-28
お忘れ物はTEL 03-3617-5231
ご意見・ご要望は
TEL 03-3205-6622
タクシーのご用命は
TEL 03-3203-8181
登録番号：T2011101023399　消費税率：10%

領　収　書
No.4877
日付　2025年09月17日
車番　1611
運賃　¥900-
合計　¥900-
消費税率　10%
上記の通り領収致しました

大和 大和自動車交通玉千機
☎ 03-6903-0151
無線配車センター
☎ 03-3563-5151
登録番号：1010801024471
予約のできるタクシーアプリ
S.RIDE(エスライド)
ダウンロードはこちら

No025
領収書
2025年09月17日
車番　207
運賃　1100円
運賃料金計　1100円
計　1100円
内消費税額　100円
消費税率　10.0%
登録番号：T4011701012857
TM交通タクシー株式会社
東京都江戸川区北篠岡2-6-18
TEL 03-5676-2130

【2班】厚生労働省 ➡ 東京駅　（3台）

領　収　書
現・チ・ク・割引　No.0023
日付　25年09月17日
車番　04825　009
メータ運賃　¥1,200
合計　¥1,200-
上記の通り領収致しました

消費税率　10%
陸王交通株式会社　登録番号　T8011401006844
日本交通グループ
陸王交通　系列営業所

領収書
毎度ご乗車ありがとうございます。
ドア番号　474
2025年09月17日

運賃	1300円
運賃料金計	1300円

計　1300円
(株)グリーンキャブ江戸川
〒132-0035 江戸川区平井6-2-28
お忘れ物はTEL 03-3617-5231
ご意見・ご要望は
TEL 03-3205-6622
タクシーのご用命は
TEL 03-3203-8181
登録番号：T2011101023399　消費税率：10%

領　収　書
現金・チケット・クーポン・割引　No.7565
日付　2025年09月17日
車番　000000　0000
運賃　¥1,130
運賃料金計　¥1,130
合計　¥1,130-
内消費税等　¥102-
消費税率　10%
上記の様に領収致しました
毎度ご乗車ありがとうございます
神鬼タクシー
ドア番号：001
登録番号：
T6810749436167
お忘れ物は下記所属団体へ
個人タクシー第一事業団協同組合
平日 9:00~17:00
TEL 03-3425-1341
時間外：お忘れ物センター
TEL 03-5976-9165

1班 12台　2,900円
2班 12台　3,530円　合計 6,430円

③	09/17	入	国会議事	¥2,421
		出	地霞ヶ関	-178
②	09/17	入	地霞ヶ関	¥2,599
		出	国会議事	-178
①	09/17	入	国会議事	¥2,777
		出	地霞ヶ関	-178

742

12:44

利用履歴

[redacted]

前日分までのご利用履歴を表示しています。
当日分のご利用履歴は、「ウォレットアプリ」でご確認ください。

利用月日	利用箇所・区間	内容	利用額（チャージ残高）
09/17	東メ園会 東メ霞関	入場 出場	-178円 (3,204円)
09/17		物販 利用	-118円 (3,382円)
08/14		物販 入金	3,000円 (3,500円)
08/13	モバイル	入金 現金	(500円)

東京メトロ 領収書

・ご利用ありがとうございます。
・この領収書は大切に保存してください。

お取引内容：きっぷ ¥180※

上記金額を領収いたしました。
※ 課税10%対象

ご利用日付 2025年09月17日
時刻 13時46分

伝票番号：33635
東京地下鉄株式会社
登録番号：T4010501022810
関金属事務 券02発行

自由民主党浜松 国要望・研修会 日程表

（9月17日）

◆総会日程　令和 7 年 9 月１７日（水）
◆視 察 先　要望及び調査活動・勉強会（東京都）
◆参加議員　議員 ２３名

1班【11名】 平野 岳子 議員、井田 博康 議員、柳川樹一郎 議員、髙林 修 議員、戸田 誠 議員、倉田 濟一 議員、小野田康弘 議員、神間 郁子 議員、小泉 翠 議員、中野 和幸 議員、藤田 典良 議員

2班【12名】 齋藤 和志 議員、加茂 俊武 議員、久米 丈二 議員、辻村 公子 議員、太田 康隆 議員、渥美 誠 議員、花井 和夫 議員、鳥井 徳幸 議員、須藤 京子 議員、松本 康夫 議員、露木里江子 議員、鈴木 裕之 議員

◆集合時間　９月１７日（水）　浜松駅新幹線改札口　９時 集合

9月17日（水）

全員

ひかり 640号　タクシー
浜松 9：17 ＝＝＝ 10：42 東京 —— 11：15 衆議院第二会館（控室： 618号室）

1 班	2 班
全員　昼食 11:30～12：10　（第２会館地下食堂）	
昼食終了後 電車８分 丸の内線赤坂見附 …… 銀座線虎ノ門 文部科学省 13：00～13：15 11階 野中 厚 副大臣 終了後 徒歩にて財務省へ（約５分） 財務省 13：50～14：05 2階 加藤 勝信 大臣 地下鉄にて第二会館へ移動 勉強会 ①14：20～15：00 【今後の財政について】 ②15：00～15：40 【部活動の地域移行と教職員多忙化、定数】 終了後 地下鉄にて国交省へ 国土交通省 16：00～16：15 4階 高橋 克法 副大臣 ※終了後 タクシーにて東京駅へ	勉強会 ①12：20～13：00 【我が国の農業の将来像】 ②13：00～13：40 【大学の地方分散化、政府機関の地域移転】 終了後 地下鉄にて農水省へ（約10分） 農林水産省 14：15～14：30 3階 笹川 博義 副大臣 終了後 徒歩にて総務省へ（約７分） 総務省 15：15～15：30 7階 古川 直季 政務官 終了後 徒歩にて厚労省へ（約６分） 厚生労働省 16：00～16：15 10階 福岡 資麿 大臣 ※終了後 タクシーにて東京駅へ

全員

ひかり
東京 17：03 ＝＝＝18：27 浜松

（様式８）

令和７年８月２９日

会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会 長　平野　岳子　様

会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
氏　名　幹事長　加茂　俊武[redacted]㊞

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

柳川樹一郎 議員	太田　康隆 議員	渥美　　誠 議員
花井　和夫 議員	鳥井　徳孝 議員	高林　　修 議員
戸田　　誠 議員	須藤　京子 議員	倉田　清一 議員
加茂　俊武 議員	松本　康夫 議員	平野　岳子 議員
齋藤　和志 議員	井田　博康 議員	久米　丈二 議員
露木里江子 議員	小野田康弘 議員	神間　郁子 議員
小泉　　翠 議員	中野　和幸 議員	辻村　公子 議員
藤田　典良 議員	鈴木　裕之 議員	

（以上23名）

２　期間及び出張先

令和　７　年　９　月　１７　日（水）

東京都千代田区　各省庁

３　目的

令和８年度予算に係る　要望・調査・勉強会

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長　　様

会 派 名
代表者氏名

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

（様式11）

Eの7の3

令和７年９月１８日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会 自由民主党浜松
代表者　会長　平野　岳子　様

要請・陳情活動に係る報告書

出張年月日	令和７年９月１７日　（水）　１日間
出張先	東京都
出張の理由	令和８年度予算に係る要望・調査（各省庁）
出張者 氏名印 （計23名）	【1班／11名】 平野　岳[redacted]　井田　博康[redacted]　柳川樹一郎[redacted]　高林　修[redacted] 戸田　誠[redacted]　倉田　清[redacted]　小野田康弘[redacted]　神間　郁子[redacted] 小泉　翔[redacted]　中野　和幸[redacted]　藤田　典良[redacted] 【2班／12名】 齋藤　和志[redacted]　加茂　俊武[redacted]　久米　丈二[redacted]　辻村　公子[redacted] 太田　康隆[redacted]　渥美　誠[redacted]　花井　和夫[redacted]　鳥井　徳孝[redacted] 須藤　京子[redacted]　松本　康夫[redacted]　露木里江子[redacted]　鈴木　裕之[redacted]

（出張の顛末）

1　要請・陳情先

【1班】文部科学省　・　財務省　・　国土交通省

【2班】農林水産省　・　総務省　・　厚生労働省

※会派より他省庁へも要望書提出

2　要請・陳情内容

別紙の通り

3　要請書・陳情書の有無

㊀有　・　無　※有の場合は添付する

（備考）

令和７年９月１７日

令和８年度予算に関わる

要望書綴



１．国土交通省
２．農林水産省
３．総務省
４．法務省
５．文部科学省
６．厚生労働省
７．こども家庭庁
８．財務省
９．環境省
10．内閣官房/内閣府
11．防衛省
12．警察庁

浜松市議会 自由民主党浜松

令和８年度国家予算に対する要望

自由民主党浜松

国土交通省

（１）浜松市の国土強靭化について
（２）国道1号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について
（３）三遠南信自動車道の整備促進と国道152号現道改良区間の事業推進について
（４）浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について
（５）災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について
（６）防災・減災、国土強靭化の推進について
（７）交通事故のない安全・安心な道づくりの推進について
（８）遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援について
（９）流域治水への財政支援について
（10）天竜川の河川事業の促進について
（11）天竜川ダム再編事業の促進について
（12）多様な役割を担う下水道事業の推進について

農林水産省

（１）農業農村整備事業の充分な予算確保について
（２）国営三方原用水二期土地改良事業の推進について
（３）森林整備・林業振興事業及び林道整備事業の推進について
（４）治山事業の促進について

総務省

（１）令和７年度末に期限を迎える地方債の事業期間延長について
（２）上下水道一体の耐震化を加速化して実施するにあたり、更なる地方財政措置を講ずること
（３）中山間地域における携帯電話の不感地域の解消と５Ｇ基地局整備について

法務省

・外国人材の受入れ拡大に伴う多文化共生施策推進のための財政支援について

文部科学省

（１）外国人材の受入れ拡大に伴う多文化共生施策推進のための財政支援について
（２）学校給食費の保護者負担軽減に係る制度創設及び財政措置について
（３）休日の部活動の地域展開に関わる財政支援について
（４）教職員の多忙化・長時間労働の解消に向けた制度的・財政的支援について
（５）スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー制度の充実について
（６）養護教諭の配置基準の見直しについて
（７）学校施設改築・大規模改修に関わる国庫補助について
（８）私立幼稚園教諭の宿舎借上げ制度の創設についてて

厚生労働省

（１）中山間地域の通所介護でのオンライン診療実施に係る財政支援について
（２）障がい者の社会的自立に向けた支援について
（３）介護人材の宿舎借上げ制度の創設について
（４）戦没者慰霊碑等の維持管理対策の充実について

こども家庭庁

・児童養護施設への補助の充実について

財務省

（１）令和７年度末に期限を迎える地方債の事業期間延長について
（２）上下水道一体の耐震化を加速化して実施するにあたり、更なる地方財政措置を講ずること
（３）外国人材の受入れ拡大に伴う多文化共生施策推進のための財政支援について
（４）学校給食費の保護者負担軽減に係る制度創設及び財政措置について
（５）休日の部活動の地域展開に関わる財政支援について
（６）中山間地域の通所介護でのオンライン診療実施に係る財政支援について
（７）国営三方原用水二期土地改良事業の推進について
（８）浜松市の国土強靭化について
（９）国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について
（10）三遠南信自動車道の整備促進と国道152 号現道改良区間の事業推進について
（11）浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について
（12）災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について
（13）防災・減災、国土強靭化の推進について
（14）交通事故のない安全・安心な道づくりの推進について
（15）遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援について
（16）流域治水への財政支援について
（17）天竜川の河川事業の促進について
（18）天竜川ダム再編事業の促進について
（19）特定外来生物対策について

環境省

（１）特定外来生物対策について
（２）多頭飼育崩壊への対応について

内閣官房/内閣府

・拉致被害者および特定失踪者問題の解決に向けて
（１）外国資本による土地売買の規制に関する法整備について
（２）女性相談員の処遇改善について
（３）浜松市の国土強靭化について
（４）国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について
（５）三遠南信自動車道の整備促進と国道152号現道改良区間の事業推進について
（６）浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について
（７）災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について
（８）防災・減災、国土強靭化の推進について
（９）遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援について
（10）流域治水への財政支援について
（11）天竜川の河川事業の促進について
（12）天竜川ダム再編事業の促進について

防衛省

・小中学校体育館への空調・防音整備に係る交付金制度の見直しについて

警察庁

・外国人運転者に対する交通安全対策の強化及び制度整備について

国交省

令和７年９月１７日

令和８年度予算に関わる

要　望　書

浜松市議会 自由民主党浜松